臺灣總督府

農業試驗所彙報

第百七十三號

柑橘小實蠅の誘殺驅除に關する試驗研究

臺灣總督府農業試驗所

昭和十五年八月

農作物が改良を加へらるるに從ひ栽培管理法を愈周到にしなければ其本質を發揮せしめることが出來ぬ。蓋し改良は野生の原種より益々遠ざかつて形質の良と產量の大とを目指して行はれるからである。就中園藝作物は其良果を收むるに特に培養保護を要するものであるが病蟲の障害は之を豫防し之を芟除し被害の絕無を期せねばならぬ。

臺灣の特產果實類の一大害蟲たる柑橘小實蠅に對し從來種々なる防除法が講ぜられて居るが未だ被害を絕滅するに至つてゐない。そこで新に斯害蟲の趨化本能を追究し誘殺驅除劑を創案した。此藥物の調劑と驅除の機構とを明にし實驗成績に照らして本法の有效適切なる所以を詳述したのが此報告である。果樹園藝產業上裨益する所至大なるものがあると思料する。

昭和十五年七月

臺灣總督府農業試驗所長
農學博士　澁谷紀三郎

臺灣總督府農業試驗彙報 第百七十三號

柑橘小實蠅の誘殺驅除に關する試驗研究

目次

I 緒論 …… 2

1 趨化性 …… 2

2 嗅覺器官 …… 4

3 實蠅其他に試みられたる誘致劑又は忌避劑 …… 5

4 誘致劑實施上の注意 …… 10

II 試藥の調製及分析 …… 13

III 誘致試驗實施方法 …… 16

IV 試驗成績 …… 16

1 農業試驗所成績 …… 17

2 嘉義農業試驗支所成績 …… 22

3 新竹州農會試驗成績 …… 33

4 臺中州農會試驗成績 …… 43

5 臺中州立農事試驗場成績 …… 50

6 臺南州立農事試驗場成績 …… 58

參考文獻 …… 72

柑橘小實蠅の誘殺驅除に關する試驗研究*

技　師
農學博士　三輪勇四郎
森山忠光

柑橘小實蠅は臺灣に於ける柑橘類或は檬果の果實に對する大害蟲であつて、夫等の栽培業者にとり一大恐威的存在たる事は云ふ迄もない。此被害の防遏に對し從來各種の方法が講ぜられてゐた。就中1937年當農業試驗所の前身たる中央研究所農業部の應用動物科長素木得一技師が釜屋式誘殺瓶を用ひ諸種の精油單用にて爲された實蠅誘致の試驗結果は全般的に公表せられてゐないが、臺中州立農事試驗場に於て擔當した其成績の一部は、中村純雄技手の名に於て臺灣農會報に公表せられたのである(1939)。我々は此藥劑に依る實蠅誘殺驅除方に關する仕事を繼承し、昭和13年に行つた既成藥劑クレンゼルに依る誘致試驗結果は豫報として既に公にした所である(1940)。其後我々は臺灣の氣候風土に適したる優良なる國産誘致劑の作製を冀ふ上から臺北帝國大學理農學部農産利用學教室山本教授並に大島助教授の助力を得て玆に逐次新劑を調製し、昭和14年度に於ては新竹州農會、臺中州農會、臺中州立農事試驗場、臺南州立農事試驗場等の協力を得て、之等新藥劑に依る實蠅誘殺試驗

* 臺灣農事報　第36年第8—10號別刷

を施行した。本篇は夫等の成績を取纒めたものであるが、同時に從來報告せられた昆蟲の趨化性、嗅覺及誘致劑等に關する諸問題を論じ、併せて新藥の內容を明かにした。

本試驗遂行中終始激勵と庇護を與へられたる農業試驗所長農學博士澁谷紀三郎技師に敬意と謝辭を奉呈し、併せて本問題に關して種々助言を與へられたる臺北帝國大學教授素木得一博士並に山本亮博士に深甚の謝意を表し、尙調劑の研究を致されたる大島康義博士及試驗に協力せられたる各地方の所屬官廳の上司並に試驗擔當者各位に對し滿腔の謝意を表するものである。

I. 緒　　論

1 趨　化　性

昆蟲が或る種の化學物質に力強く誘引され又は之を嫌厭する例は屢々認める所である。害蟲驅除の手段として是等昆蟲の趨性を利用する場合、我々は誘致毒劑（Bait poison）、誘餌（Lure）乃至は排撥劑（Repellents）等を用ふ。而して此設置した物質に對し昆蟲が誘致される場合、是等の物質は何れも誘致劑（Attractants）と稱せられるのである。昆蟲の感應作用の中で是等化學物質に對する反應を研究して之を害蟲の防除に利用せんとするに當つて、特に(1) 昆蟲の形態學的研究、(2) 化學物質に對する昆蟲の視覺、味覺及嗅覺反應の實驗的研究、(3) 化學的條件の研究、(4) 外部影響（溫度、濕度、風力、降雨等の影響）の研究が必要なる事は言ふ迄もない。昆蟲の趨性中特に趨化性が其生活に重大な役割をなし、習性の大部分を占めてゐるのである。卽ち攝食にも產卵の習性も亦雌雄相求むる場合に於ても總て趨化性に基いて行動をなすものと解せられる。Barrow は猩々蠅の食物は視覺ではなく、嗅覺に依て之を探知すると共に其最初の行動は全く方位を定めざる事を實驗した。シロテフ屬の幼蟲は芥子油を含有する植物に對し強い陽性の趨化性を示すが、雌成蟲は其產卵に際して正確に十字科植物又は其近緣種を選擇する事は Verschaffelt 其他の報告に依つて明である。寄生蜂の或種は土中、繭層內、葉片中、樹皮下等に在る宿主に對し外部より之を識別して產卵するものが少くない。又鱗蛾科の或種の雄蛾は遠距離より雌を巧に探知する等は好例

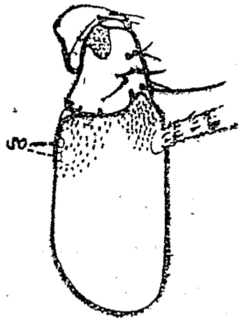
であらう。一方陰性の趨化性たる排撥劑の例として、我々は燻煙に依つて蚊の襲來を防ぎ、シトロネラが其防除に有效であること、或はナフタリンやタールが各種の害蟲防除劑特に害蟲を忌避せしめ得る目的で用ひられるのを知る。是等の趨性が嗅覺に最密接な關係のあることは、前述の如く或る雄蛾が遠距離より其雌蛾を感知する場合、蛾の主なる嗅覺器管と考へられる觸角が雌雄に依り著しく形狀大小の異るを知る。又蚊が闇夜に襲來するが如きも其視覺とは關係無く嗅覺である可き暗示とならう。Hewitth は夫等昆蟲の嗅覺を通じて化學物質に對する反應、卽ち趨化性は昆蟲の生活上に極めて重要な要素であると指摘した。Kühn は昆蟲其他節足動物の嗅覺は其反應に依つて體位を定め得る上にも役立つ事を述べ、Forel 及 Trägårdh 等も亦此事に就て記述した。Trägårdh は趨化性の應用的見地に於て昆蟲の攝取する植物と同樣な有機物質が創案し得られるならば昆蟲は之に誘致せしめ得られると述べ、Howlett は此種の實例として肉蠅がスカトールを有する容器中へ產卵し、サシバヘの1種 *Stomoxys caleitrans* は或る植物質の溶解された纈草酸（Valerianic acid)に浸潤した綿布に產卵するのを知つた。Dwitz は蛾の各種に就て夫等嗅覺に對する誘引物質の關係を研究したが、誘引毒餌劑に就ては已に1885年 Coquillet がコホロギに最初の試を爲し（McIndoo に依る）。Dean 及 Parker 等も夫々果實油、醋酸アミル等を夫等の目的に使用してゐるらしい（McIndoo に依る）。而して Speyer は化學物質に對する家蠅の趨性と物質の揮發性との關係に就て、Cook は蠅の種々なる誘引劑とパラフインの物理的性能との關係に就て研究した。さて玆に誘餌に對する趨化性は嗅覺反應なるか味覺反應なるかに就て疑がある。從來昆蟲には眞の味覺は存しないものと信ぜられてゐる場合が多く、嗅覺と味覺の間は常に不明瞭の點が多い、從つて食餌の場合には是等兩者が反應するのであらうと一般に考へられてゐる。味覺に關する研究は比較的新しく進展の途上にあり最近各種の研究が報告せられてゐるが、特に昆蟲の味覺に關し興味ある問題は感受器（Receptor）に關する事項である。卽ち Minnich 其他に依つて昆蟲の中或種の蝶、蠅等には味覺器官として脚部に存する細毛其他が此作用を有する事が判明してゐる。今村は蠁蛆蠅に就て又 Donier は家蠅の驅除に當り毒物に處理した蔗糖

を使用して實驗し、夫々其事實を確めた。然し或る物質に對し昆蟲が之を攝取するか否かの最終の判定は其脚の Chemoreceptor に依るものでなく、口吻に依るものならんとは各學者の推定である。

2 嗅覺器官

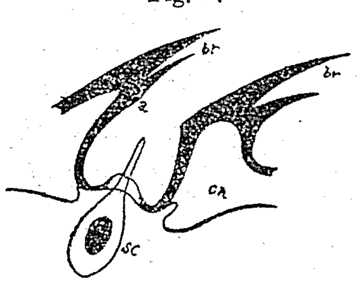
昆蟲の多くは其觸角に小孔が散在して栓狀突起乃至感覺毛等が生じてゐる。之を一般に Olfactory pores と呼んでゐるが又別に最初 Hecks と記載されてゐる。Hoppkins は嗅覺に對する刺激は只觸角の嗅覺孔から感受すると述べた。家蠅、縞蠅等の觸角に蠟を塗抹するか或は觸角を除去すると肉類に集來しなくなる事は一般によく知られてゐる所である。Barrow は猩々蠅の嗅覺器官が其觸角の第3節及末端にある事を知り、其一方の觸角を失つた時は他の觸角が刺激を受けることと及運動の均衡を缺く事を知つた。蠅類中 Seamans の研究した *Anthomyia radicum* L. の觸角を示すと fig. 1 の如く側方に2箇の感覺孔が開かれてゐる。小孔、栓狀突起、觸毛等は何れも內部に神經端を有してゐる。Hauser, G は馬蠅の1種 *Tabanus bovinus* の觸角に存する嗅角窩を fig. 2 の如く圖示して其剛毛の嗅覺細胞に連つてゐる事を示したが、同じく蠅の1種 *Cyrtoneura stabulans* の觸角第3節內の神經分布に就ても fig. 3 の如く示した。次圖には神經と共に氣管の分枝も夫々末端に達して居る事が示されてゐる。Kühn, A. に依れば昆蟲其他の節足動物頭部の觸角は夫等の嗅覺機能と共に嗅覺反應に依つて體の空間的位置をも決定し得ると云ふ。大森の爲したイチモジセヽリの觸角障害に依る上昇飛翔の觀察結果の如きもこの論據を裏書するものと云つてよからう。一方 McIndoo は3種の肉蠅(*Calliphora erythrocephala* Meig., *Fucilia sericata* Meig., *Phormia regina* Meig.)の觸角は嗅覺なき事を實驗した。嗅覺器官は或る昆蟲に於て觸角以外にも認められるものが少くない。最も手近かな例として二化螟蛾の如き前翅の脛脈に其嗅覺窩の認められる事は藍野其他に依つて記述せられてゐる。Hartwell, R. A. は蛾の嗅覺器官が觸角及口部、脚の轉節等に存する事を認めた。而して昆蟲の幼蟲期及蛹期に於ても觸角、口部、體表等其種類に依り夫々種々な部分に嗅覺孔又は類似の感覺器が認められる。

Fig. 1.



so＝感覺孔

Fig. 2.



ch＝クチクラ層
sc＝感覺細胞
br＝剛毛
a＝嗅覺窩

Fig. 3.

n＝神經
tr＝氣管

Ellsworth がある蠅の幼蟲の其下顎に於てなした研究、又 McIndoo の鱗翅目其他の幼蟲の嗅覺器官に關する研究は、此方面の著名な業蹟である。一方小野は家蠶蛹の嗅覺器官に就て研究してゐる。昆蟲の中には、化學的感覺 (chemical sensation) として嗅覺器官に感受すると同時に合併して感覺反應を起す一種の味覺器が脚部に存する事は前に述べた。Minnich, D. E. は家蠅科の *Callichora vomitoria* L. の如きは其脚部特に脛節に恰も吾人の舌と同樣な働を有する所謂 Contact chemoreceptor の作用を有する器官のある事を明かにし、Abbott は *Cochliomyia macellaria* Fab. の跗節に於、今村は蠶蛆蠅の脚に於て化學物質に對する Receptor の作用を有する事を確めたが、此

事實は其他各種の昆蟲及蜱類にも認められて居り比較的最近に至つて研究の進められて來た味覺生理上最も興味ある事實で、之は害蟲に對する誘致劑の應用上にも關係の深いものと考へられるのである。

3 實蠅其他に試みられたる誘致劑又は忌避劑

從來昆蟲の誘致劑或は忌避劑として報告せられた化學物質及夫等の實驗は甚だ多い。中でも蠅類に關する研究が少くない。Henning（浦本による）は化學物質に對する嗅覺の種類は味覺に準じて辛香、花香、果實香、樹脂香、焦香、腐敗香の 6 に大別し、總ての香は此何れかの香に屬し或は類似するものとして三稜柱の各頂點に各香を配置し嗅覺三稜柱なるものを案出したが、之に依れば主として昆蟲に嗅覺反應を起さしめる誘致物質は各種のアンモニヤ、植物油、或は腐敗物質等の配在に依るもの多く、前三稜柱の花香、果實香、樹脂香及腐敗香に屬するものである。Crocker 及 Henderson は香の根元を fragrant, acid, burnt 及 caprylic の 4 群に大別した。McIndoo は *Leptinotarsa decemlineata* に對して馬鈴薯、トマト等の植物自體或は各部分又は其抽出物質等に對する嗅覺反應を實驗し、又夫等植物體を各種に配列して該蟲が夫々に到達する數、性比等に就ても各種の實驗を行つたが、馬鈴薯が最も強く該蟲を誘引する事を知つた。又同氏は或る肉蠅に對し醱酵した砂糖液、各種の乳類の外、腐敗肉及腐敗卵が良く誘引する事を述べた。Cole はゴキブリ（*Blatta orientalis*）に對し各種抽出油の嗅覺反應を試みた結果、バナヽ、オレンヂ、林檎、鳳梨等の各抽出油の配在せられた毒餌が夫を誘致する事を知り、Lehman は或種の叩頭蟲に對する罠（Trap）には脂肪酸其他の有效な事を記した。Abbott はシデムシにスカトールの誘引力を驗し、小林は棉の赤星椿象に對して Ammonium hydroxide 及 Trimethylamine の誘引作用を有する事を報告した。蠅類の中特に實蠅に對しては Howlett は *Dacus* 屬の 2 種 *D. zonatus*, *D. diversus* に對しメチールオイゲノール、オイゲノール、イソオイゲノール、メチールイソオイゲノールの各々を紙上に滴下して實蠅の集合する狀態を調査した。それに依るとメチールオイゲノールは兩種の雄を誘引したが、イソオイゲノールは *D. diversus* に對して效なく、オイ

ゲノールは *D. zonatus* に對してのみ稍々誘致する結果となつたがイソオイゲノールは之に對し全然效力が無かつた。即ち同屬の間に於ても又雌雄間に於て嗅覺反應の異ることを確めた。中村は臺中に於て素木博士の指示に依り柑橘小實蠅に對して、イソオイゲノール、メチールオイゲノール、醋酸リナリル、トルペンチン、ヘキサメチレンテトラミン、ケロシン、蜂蜜、及椪柑の果汁を以て誘致試驗を行つたが、其結果メチールオイゲノール及果汁が最も效果ある事を報告した。Ripley 及 Hepburn は實蠅の 1 種（*Ceratitis rosa*）に對して種々な香油を用ひて其誘引及忌避性を驗し、用ひた化學物質は 150 餘種に達したが、其結果糠油の毒餌は *Ceratitis rosa* の雌雄何れをも誘引し、醋酸リナリルは或程度の誘引力が認められ、特に濃度の高い程其强さの增す事を知つた。クローバー油も亦麫粉糠（Pollard）[1] の毒餌と同樣に誘致し、*C. rosa* の雌雄共等しく之に誘殺される事を知つた。而し印度に於て實蠅の或種に試みた所其雄のみが誘引されたと言ふ。其使用量は糖蜜（Treacle）2lb. 砒素劑（Pure-bi-sodium hydrogen arsenate 又は Pure arsenate oxide）を 3 oz. 硼砂（Borax）1.5 lb. の分量を 10 gallon の水に溶し、之に Pollard 6—8 lb. を混じて使用するのである。其誘致は酸の强さと共に效力が增進すると云ふ。其後氏等は更に多數の精油其他の物質を以て實驗した結果の中誘引力ある物質 86 種を發見し、特に其中强力なるもの 32 種を擧げた。一般に Carbohydrate, Aphiphatic alcohole, Aldehyde, Ester 及 Acid of low carbon 等の仲間が最も嗅覺反應が顯著で、クローバー油に依る Caryophyllene 及醋酸テルピニール其他9種は唯雄に對してのみ誘引力を示したのを知る。更に其後實蠅科及果實蠅科の蠅の誘致に關して研究し、毒餌中に夫等の雌蠅を處理して混ずれば、其雄に對する誘致力を增す事及雄を誘引する 17 劑中 African copaiba oil（66%*）, Terpenylacetate（17%）, Caryophyllene（Clover oil 9%に依る）及 Clover terpenses 等有效で Caryophyllene（33%）には濃度に關係なく最も顯著に誘引せられる事を認めた。而して果實蠅13種の

1) Pollard とはニュージーランドに於て兎の毒殺驅除に用ひてゐる毒入の麫粉糠の事をかく稱してゐる。轉じて誘殺餌に用ふる毒入糠を云ふ。

* 鯨油に溶した割合、以下之に準ず。

雄は醋酸トルペニールに誘引せられ、此種は Pollard に對して趨化性を示し、*Ceratitis* 及其近緣屬は醋酸トルペニールに又 *C. rosa* は極めて多くの誘致劑に誘引されたと報告し、同屬に於ても *C. capitatà* 及 *C. rosa* の兩種はパラフイン油に對する反應が著しく異る事を知り、又誘致劑に對する反應は各種の條件に依つて異る、即ち雄は室內と室外に依つても相違するものゝ樣である。家蠅其他の蠅類の產卵に蛋白の必要なる事に就ての硏究は少くない、小林其他に依つて實驗せられた如くビスケツト等を濕潤せしめて之に血液の少量又はペプトン水を加へると容易に產卵する事が認められ、Newman 其他は他の物質と共に之等の蛋白含有物質の誘致力に關して實驗した。實蠅誘致劑として旣に發賣せられてゐるクレンゼルに就ては筆者が士林園藝試驗支所に於て試驗した結果を發表したが、Newman は此藥劑に對する效力試驗を行ひ、旣に其效果を認めてゐる處である。神澤は櫻桃猩々蠅に對する糖蜜、黃ザラ糖、日本酒、葡萄酒、櫻桃酒、醋酸、シトロネラ油、ゲラニオールエキストラ、ベルガモツトオイル其他に就て單用及夫等を配合した食餌を比較したが、20倍糖蜜に葡萄酒若しくは日本酒を混合した液は其誘引力が良好で、酒量は一般に多くなるに從ひ良好な結果を得た。而して同氏の硏究に依れば櫻桃果の成育時期には日本酒より葡萄酒が良好で、葡萄果の成熟時期には日本酒が良好であると云ふ興味ある結果を得てゐる。Smith は稀釋したフオルマリンにミルクを混じた液は家蠅を誘致して斃死せしめるに有效な事を記し、Barrow は猩々蠅に對し Acetic ether, Isobutyl acetate 及 Methyl acetate 等の少量を10%のエチールアルコールに加へた溶液の時、又同樣に醋酸或は醋酸をアルコールに加へた時は强い誘引力のある事を認めた。Peterson は葱蠅の1種 *Hylemyia antiqua* Meig. 又 *H. cilicrura* Pona の兩種共が諸種のアルコール (Allyl alcohol, Isopropyl alcohol. Ethyl alcohol 及 Butylic alcohol 等)の少量(5 c.c. に 1—2 滴)を含有せしめた蜂蜜を水に混じて造つた甘味を有する食餌に多數集來する事を報じ、特に Allyl alcohol 及 Isopropyl alcohol は其誘引に有效であると述べた。又實用上糖蜜、蜂蜜、黑砂糖、イースト等を含有せしめたものも各々誘引せしめ得ると述べた。而してアルコールを使用した食餌は揮發性の爲數日後に其效力が失はれるが、イーストを

含有せしめた食餌は久しく乾燥する事が無く2—3週間其作用を有し、イーストは特に Dry yeast が便利で之に砒酸曹達の少量を混ずるも誘引力に變化のない事を確めた。Hoskins 及 Craig は肉蠅の1種 *Lucilia sericata* Meigen に對し Amylmercaptan 及 Methallythiocyanate の濃度と誘引との關係を明示し、夫等の濃度に依つて其反應に差の生ずる事、又 Wieting 及 Hoskins 等は其後家蠅のアンモニヤ、二硫化炭素及エチレンブリユー等に對する反應に就て硏究した。即ち 0.012 %(容積)の濃度のアンモニヤは家蠅の雌雄を何れも誘引するが 0.03%以上の濃度に高まると反つて忌避の現象を示す。而してエチレンブリユーは 0.012% に於て僅に誘引し、アンモニヤの場合に於ては雌は强く誘引せられるのを見るも、エチレンブリユーに於ては反對の現象を呈すると述べた。Richardson C. H 及 Richardson E. H は Ammonium arbonate が家蠅を誘引する事を知り、之が主として其中のアンモニアの作用に依る可しとした。其他 Morgan 及 Crumb は蠅が Amylalicylate に誘引せられる事、Burdette は薄荷の蛆蠅 (*Spilographa electa* Say) に砂糖を混じた砒酸食餌の撒布は本蟲を誘引する事を述べ、熊代は家蠅其他の蠅に對し數種のエステル類、アンモニヤ、アルコール、糖蜜、蜂蜜、人糞、尿、棉實粕、蠶蛹等を用ひ、蠶蛹は蠅類の誘致に首位であつた事、酪酸メチールエステル、酪酸エチールエステルでは後者が誘引力强く、又蟻酸メチールエステルは酪酸メチールエステル及エチールエステル、醋酸メチールエステルに比し誘引少くアンモニヤも效少き事を報告した。Eyer はコドリン蛾に對し甘蔗のシラツプ又はそれに 0.2 %の Sodium benzoate を加へた液、或は Ethyloxyhydrate, Isobutylphenylacetate 其他が强く誘致力を有すると報告した。氏は又コドリン蛾に對する各種の誘引物質を種々に組合せし其誘引要素の本質を檢討せんとすると共に發香するエステルが、其醱酵する際のバクテリアの種類との關係に就ても試みて居る。次に忌避劑としてパラフインが實蠅を忌避せしめ、シトロネラ及芥子油も少しく忌避劑として作用する事は Ripley 及 Hepburn に依つて報告され、其後更に多數の誘引劑と共に忌避物質をも發見した。即ちパラフイン及種々なる窒素分解に依つて生じた、例へばアミンの如きは强い排撥作用を有する事を認め又フーゼル油のアルコールを含有する Turpentine は實蠅に對して排撥作用を示す事を認めた。Mac Gouran 及

Fllisor は肉蠅が Pine-taroil を忌避すること Bishopp, Looke, Parman 等は馬蠅の或種 *Cochliomyia macellaria* Fab. も亦 Pine taroil, ナフタリン、クロールピクリン等の主剤及混合せられた各種の薬剤を忌避剤として使用した。Cleveland は又家蠅の忌避剤として各種の物質を使用し Crank caseoil 及タールを用ひた製剤が有效である事を記し、Blanton 及 Sprisijt は或根蠅にボルドー液油が忌避作用を有すると述べた。Wieting 及 Hoskins は家蠅が 0.012%のアンモニヤに於ては誘致せられ、0.03%以上の濃度に於ては忌避する事を述べたが、蠅類以外にナフタリンや樟腦が家庭の有效な防蟲剤として使用され、各種の屋内害蟲を排攘し其襲來を免れ得る事は等しく吾人の知る所であるが、ナフタリン及 Dippels oil が果樹心喰蟲蛾の忌避剤として役立つことは Lipp により證せられ、又 Billngs 或は Abbott 等も夫々油類、ナフタリン、パラヂクロールベンゾール及シーダー油等が姫心喰蛾の忌避剤として作用を有する事を報告してゐる。又今村はヒメカツヲブシムシがバラヒメシヨオン、マーガレツトの花香を嫌悪し又樟腦、パラヂクロールベンゾール、アンモニヤ、アルコール等を嫌忌し、就中ゲラニオールを最も甚しく嫌忌する事を明にした。

4　誘致剤實施上の注意

イ、誘致剤の濃度：　誘致剤の使用には凡そ2様式がある。其1は誘致力を有する其物質の單用の場合で或る時は此ものが毒剤ともなつて昆蟲に作用するもので純然たる誘致剤と看做されるものと、其2は毒剤の誘引效力を增進せしめる目的で加用する場合とである。前者の例は即ち一般の誘致剤其のものをさして言ふ些か廣義の解釋であるが、後者の例としてはゴキブリの驅除に硼酸を混入した毒餌(芋、飯、團子、テンプラ等を用ふ)を用ふる場合、多數に誘引し毒餌をより多く攝取せしめんとしてアンモニヤ其他の化學物質を添加する場合の如きである。何れの場合に於ても其誘致物質は絶對效力の或一點に達すれば、それ以上の使用は反つて其效力の減退する場合が屢々認められてゐるが、それは一般に其刺戟の强い爲に蟲體の感覺痲痺を起す結果と解されてゐる。

Ripley 及 Hepburn は實蠅の嗅覺反應を起す多くの誘引剤は、其濃度との

關係が比較的輕微な事を述べたが、Hoskins 等は *Lucilia sericata* に對する Amylmercaptan, Methallythiocyanate 又家蠅に對するアンモニヤ、二硫化炭素及エチレンブリユー等は夫々濃度の異ると共に夫等に對する蠅が反應の變異を示す事を確め、更に或る場合には一定限度以上の濃度に於ては全く作用が陽正から陰負に變化する場合が認められると云ふ。即ち誘致剤の種類、其濃度の變化、雌雄性、氣象の變化等各種の因子の組合せに依つて誘致頭數もまた微妙に變化して行く事を知つた。

ロ、罠 (Trap) 及其位置と實蠅の飛翔力：　誘致剤を使用して驅除を實施するには罠(一般にトラツプと呼ぶ)を用ふ。此トラツプは驅除す可き害蟲に依つて各種の型體がある。實蠅類に對して使用されたもの數種あるが大體大同小異である。

Fig. 4

誘殺瓶 (昆蟲 p. 258,1940)

釜屋式誘殺瓶(fig. 4)は硝子製にして上部に 3 cm 內外の瓶口があり、底徑 10 cm 內外の圓筒の柱面三方に外方から內部に向つて指頭で押開いた樣な孔徑 2.5cm の孔を有する瓶と、亞鉛引き鐵板傘から出來てゐる。瓶の口には螺旋に依つて金屬の蓋を被る樣に出來て居り、其蓋に釣絲が附いて居る。蠅は要するに三方の開いた孔から香に向つて內部に入ると容易に脫出の出來ない樣になつてゐる。神澤は猩々蠅に對して使用した誘殺瓶各種を月見型、富士型、砲彈型等と稱し效力の比較を行つた。其結果月見型は一般に他の2者に優る事を知つたが、氏は更に本瓶の孔徑と孔の數を變へ、孔徑 1.7cm とした瓶を改良月見型と稱し、孔徑 1 cm とし孔數4箇にした瓶を特別改良月見型と稱し夫々效力を比較したが、其結果に依ると特

別改良月見型が最も良好で他の場合には、傘を覆つた場合共蒸發も少く誘殺數も增加するに反し、本瓶は殊に共無覆の場合一層有效な成績を得てゐる。Ripley 及 Hepburn は實蠅の誘致に Terpenyracetate を實施する際醋酸を鯨油又は他の植物油と共に溶解して之を罠の上に略 0.25吋の厚さのフイルムに被覆して之を每夜懸換へてゐる。扨トラツプの位置を定める爲には豫め蠅の飛翔力及共高さ等に對しての考慮が必要である。勿論共飛翔力は外界の狀態で一定ではないが、飛翔力を計るには翅の振動數、翅の面積及體重等が重要な要素と考へ得るであらう。Hine, Forbers, Howlett 及 Merriman, Sanders 等(今村に依る)は何れも實蠅の飛翔距離に就て研究したが、夫等は一地點から多數に放して再び捕獲した地點迄の直線距離を計り、又片尾は蠁蛆蠅の飛翔力を同じく夫等に相似た方法に依つて計つたが、之等は何れも不合理な試驗と考へられる。最近今村は蠁蛆蠅の飛翔力に就て興味ある研究を發表した。即ち氏は蠅を固定せしめて、之に V なる風速の向ひ風を當てた場合の翅の振動數を測定し之に依つて飛翔力を求めてゐる。共結果に依ると同蠅の翅の振動數は每秒 1.30回内外で平均秒速は2.1—2.5m. の範圍のものだと發表してゐる。而して共能力は 20°C 以上に於て充分に發揮せられ、每秒 1m 以下の風速に於ては風速には無關係であるが 1m 以上になると正の趨風性を認め風と正反對の體位に飛翔し、更に 3m 以上になれば趨風性は認められるも抵抗し得ずして風に押し流されるのを認めた。八木の Ritter が縞蠅に用ひた如き Straight kymograph (八木に依る)に依つて二化螟蛾に就て恒溫恒濕の條件の下に行つた結果に依ると、該蛾は 11.5°C に於ては每秒共上下振動 29.9, 14.5°C に於ては 31.4, 25.2°C に於ては 41.0回を示し溫度の上昇に伴つて增加して居る。尙昆蟲の飛翔に就ては藤島は或甲蟲に就て航空學的の體位、行動等に就て述べ、大森はイチモジセセリに就て共觸角に障害を與へた場合には上昇飛翔を行ふ事の觀察を行つた。之等の研究結果は將來共誘殺瓶の位置の設定に關し大いなる示唆を與へるものと考へられる。

ハ、天候と發生消長の關係： Ripley 及 Hepburn は *Ceratitis* 屬の實蠅を室內に於て實驗する時は夫等の雄が誘致劑に對して嫌忌する現象を認めたが、共行動が溫濕度共他の天候要素に依つて異るは勿論である。一般には晴天の比較的溫和な天候の時に最も活動が盛であり、雨天、夜間又は暴風の日、

或は寒冷の狀態に於ては靜止して活動を休止する。Lodge 共他に依れば家蠅の發生は高溫多濕の候に旺盛であると認められてゐるが、一方小林は朝鮮に於ける蠅の發生の多い原因は全く氣象の關係であり、共要素は乾燥に依る事を指摘した。

以上述べた如く實蠅の誘致劑として各種の化學物質が取扱はれたが實驗的に效果のある藥劑も、更に之を實際に應用して有效適切なる結果を得る爲には急激に香氣が發散し盡したり又速かに蒸發する物質は好ましくない。即ち調劑の側からは效力の永續性を保たしめる事竝に成分の配合度等に重點を置かなければならぬ。又使用者の側からは稀釋度の標準、罠の形狀と懸垂の位置及實蠅の經過習性と氣象狀態の關係に就て圃場に於ける詳細な調査研究が進められなければならない。過去の成績に徵じて我々が新たに企圖した藥劑は次項に示す4種であるが、之が調劑は、同時に誘致試驗を爲した既成藥劑クレンゼル液の分析と共に大島博士の手に依つて爲されたものである。

II. 試藥の調劑及分析

擔當責任者　臺北帝國大學理農學部農產利用研究室　大島康義博士

1 石鹼液の製造

シラシメ油 1.5 kg, と苛性曹達 230 g. を水 9 L と共に數時間加熱鹼化す。冷却後之に濃アムモニヤ水(28%) 720 c.c. を加へ之を基液とす。

試藥 No. 1

基石鹼液……………………………… 10 L.
レモングラス油…………………………200 c.c.
丁字油………………………………… 20 c.c.
ゲラニオール…………………………… 20 c.c.

試藥 No. 2

試藥 No. 1 に下のものを加ふ。
松脂浸出液 (酒精100松脂10の割合)……………… 20 c.c.

試藥 No. 3 (クレンゼル液)

クレンゼルとは Scotland の John Paterson & Co., LTD 發賣の實蠅

誘致劑である其の分析結果は比重…………………………1.05

アルカリ度　遊離アルカリは定性の結果主としてアムモニヤなり。ケールダール法に依るアムモニヤの定量の結果約2.0%

脂肪酸鹽（石鹼）供試液を水に稀釋せるものと酒精にて稀釋せるものとを$\frac{1}{10}$規定硫酸を以て滴定するに甚しき差を生ず。之は石鹼に由來するものとし、之より算出せる所に依れば100 c.c中28 g.のソープ(石鹼)を含有す。脂肪酸は大部分液體酸にして固體酸を若干含む加里鹽大部分にして曹達も多少檢出す。

精油* 蒸氣蒸溜に依りて得たる精油分は原液100 c.c.に就き約1.0 g.なり。試料少き爲精油成分は檢索せず。

以上の分析結果を要約すれば、液體脂肪酸を主とする混合脂肪酸の加里鹽(曹達鹽も若干)約30%を含む石鹼液を基とし之にアムモニヤ約2.0%、精油約1 0%を含有せるものなり。

試藥 No. 4.（臺農殺蟲第1號）

基石鹼液	10 L
メチルオイゲノール	100 c.c.
レモングラス油	20 c.c.

試藥 No. 5（臺農殺蟲第1號）

基石鹼液	10 L
トリメチールアミン	100 c.c.
レモングラス油	50 c.c.

試藥の原價

1 基石鹼液

シラシメ	1.5 kg	1.35圓
苛性曹達	230 g.	0.21圓
アムモニヤ	720c.c.	0.40圓
計		1.96圓

* 布哇大學の分析に依ればオイゲノール、ゲラニオール、シトロネラ油等を檢出せりと云ふ(ヒロ市若林拾一氏より總督府特產課渡邊正一氏に對する私信に依る)

即ち基石鹼液10 L約2.00圓となる。但之は量が增せば單價は低下し得るものなり。

試藥 No. 1

基石鹼液	10 l.	2.00圓
レモングラス油	200 c.c.	1.40圓
丁字油	20 c.c.	0.50圓
ゲラニオール	20 c.c.	1.68圓
計	10 Lに就き	5.58
1 kg=0.56圓	1 gallon=約2.20圓	

試藥 No. 2

試藥 No 1	10 L	5.58圓
松　脂		0.20圓
計	10 L	5.78圓
1 kg=0.58圓	1 gallon=約2.30圓	

試藥 No. 3（クレンゼル液）

臺灣總督府殖產局特產課渡邊正一氏の調査に依れば布哇に於て1 gallon瓶入り＄3.50なるも5 gallon 罐入は＄12.50なるを以て之を購ふ時は1 gallon ＄2.50となる由。

試藥 No. 4

基石鹼液	10 L	2.00圓
メチールオイゲノール	100c.c.	6.50圓
レモングラス油	20 c.c.	0.14圓
計	10 L	8.64圓
1 kg=0.87圓	1 gallon=約3.40圓	

試藥 No. 5

基石鹼液	10 L	2.00圓
トリメチールアミン	100 c.c.	20.60圓

レモングラス油………………50 c.c. ………………………0.35圓

計	10 L	22.95圓

1 kg＝2.30圓　　　1 gallon＝約9.20圓

III. 誘致試驗實施方法

農業試驗所病理昆蟲科に於ては士林園藝試驗支所竝に嘉義農業試驗支所の2箇所を設定し、尙其他新竹州農會柑橘指導所、臺中州農會果樹指導所、臺中州立農事試驗場園藝指導所、臺南州立農事試驗場協力の下に之を施行したが、共際の實施方申合せ規約は次の如きものである。

1 藥劑の稀釋割合及容量

配給せる各種藥劑は15倍乃至20倍に適宜水を以て稀釋攪拌し、誘致瓶1箇に對する使用容量は稀釋液凡そ 20 cm³ とす。

2 誘致瓶及其處置

誘致瓶は可及的農業試驗所より之を配給す。試藥を入れたる瓶は蓋口及傘を裝置したる後蓋の中央紐線を通せる孔の附近は雨水の混流せざる樣ワゼリン又はパラフヰン等を充塡し置く可し。

3 場所及位置

柑橘類、檬果其他實蠅の棲息する果樹園に於て果樹の適宜なる位置に配置して吊し置く可し。此際成る可く圃場の見取圖を作り置き次の箇條を記入す可し。

イ、圃場に於ける果樹の總本數及其位置

ロ、瓶の配置箇所

ハ、隣接地の植物乃至作物

ニ、方位及海拔

4 施用期間及取換へ

1回の施用期間は凡そ1週間とし、毎週共液を取り換へ誘致したる昆蟲は

夫々別に番號、藥名、年月日、果樹の種類其他必要な事項を記入し、各瓶毎に區別して誘致昆蟲をアルコール漬にして保存し置く可し。

5 昆蟲の調査

上の液漬昆蟲は1箇月毎に取纏めて農業試驗所病理昆蟲科宛送達せられ度し。

6 氣象狀態の記入

施行中は濕度、溫度、風力、風位、晴雨其他の氣象觀測結果を記入し置き、昆蟲と共に送達せられ度し。

IV. 試驗成績

（1） 農業試驗所試驗成績

1 場所士林園藝試驗支所

2 試驗施行期間昭和14年4月19日より5月22日迄、同じく9月5日より12月19日迄。

3 誘致劑は No. 1. No. 2. No. 3.（クレンゼル液）及 No. 4（臺農殺蟲第1號）なり。

4 No. 1 及 No. 2 は4月19日より5月22日迄グワバ及スモモ畑に於て試驗續行す。而して實蠅の誘致皆無にして雜蟲は總計163頭誘致す。

5 No. 3 は9月5日より No. 4 は9月12日より各種稀釋濃度にて比較試驗を行ひ12月12日に至る。共間の成績竝に氣象狀態次表の如し。

第1表　試藥 No. 3（クレンゼル）に依る誘致試驗成績一覽表

月日	10倍稀釋				20倍稀釋				30倍稀釋				場所
	柑橘小實蠅			雜蟲	柑橘小實蠅			雜蟲	柑橘小實蠅			雜蟲	
	♀	♂	計		♀	♂	計		♀	♂	計		
9. 5—11	0	1	1	0	1	0	1	4	1	0	1	1	畑No. 24 ザボン
〃 12—18	1	1	2	4	0	2	2	0	1	0	1	1	〃
〃 19—25	0	1	1	1	2	0	2	2		—			〃
〃 26—10.2	1	0	1	3	0	0	0	3		—			〃

10. 3—10	3	2	5	1	1	2	3	0	0	2	2	0	〃
〃 11—17	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	〃
〃 18—24	1	2	3	0	1	0	1	4	0	0	0	0	〃
〃 25—31	0	2	2	1	4	2	6	0	1	1	2	0	〃
11. 1— 7	0	1	1	0	2	1	3	0	2	0	2	0	〃
〃 8—14	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	1	〃
〃 15—21	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	〃
〃 22—28	藥	液	發	散	1	0	1	0	藥	液	發	散	〃
〃 29—12.5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	〃
12. 6—12	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	〃(收穫後)
〃 13—19	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	〃
延日數106日	7	13	20	13	12	7	19	18	5	4	9	5	

第2表　試薬 No.4 に依る誘致試驗成績一覽表

月　日	5倍			10倍稀釋			20倍稀釋			30倍稀釋			場　所
	實蠅		雜蟲	實蠅		雜蟲	實蠅		雜蟲	實蠅		雜蟲	
	♀	♂		♀	♂		♀	♂		♀	♂		
9.12—18	0	0	0	0	7	1	0	1	4	0	0	2	畑No. 24 ザボン
〃 19—25	0	11	1	0	3	1	0	7	0		—		〃
〃	0	(6)	0	0	(2)	0	0	(3)	0		—		〃
〃 26—10.2	0	5	0	0	1	0	0	6	0		—		〃
10. 3—10		—		0	20	1	0	8	1	0	15	0	〃
〃 11—17		—		0	9	2	0	13	2	0	5	4	〃
〃 18—24		—		0	11	6	0	0	0	0	16	1	〃
〃 25—31		—		0	14	0	0	11	3	0	9	1	〃
11. 1— 7		—		0	9	2	0	8	0	0	14	4	〃
〃 8—14		—		0	11	0	0	12	1	0	9	2	〃
〃 15—21		—		0	11	3	0	8	1	0	12	2	〃
〃 22—28		—		0	1	0	0	4	0	0	12	1	〃
〃 29—12.5		—		0	2	0	0	2	0	0	1	0	〃
12. 6—12		—		0	1	0	0	3	0	0	2	0	〃(收穫後)
〃 13—19		—		0	1	1	0	0	0	0	1	0	〃
延日數99日	0	22	1	0	103	17	0	86	12	0	96	15	

（註）括弧內の數字は前週より引き續き藥液を取換へずに放置せし瓶の誘致數。

第3表　氣象觀測表（自昭和14年9月12日 至 〃 12月19日）

月　日	氣温		濕度	天候		降雨量	蒸發量
	最高	最低		午前	午後		
9. 12	29.6	23.2	100	晴	晴	—	1.2
13	29.6	23.6	92	晴	晴	—	1.4
14	31.8	22.6	92	晴	晴	—	1.5
15	—	—	—	—	—	—	—
16	31.6	23.6	100	晴	晴	—	1.2
17	31.4	23.5	80	晴	晴	—	1.3
18	32.6	24.2	100	晴	晴	—	1.4
19	31.4	23.6	91	曇	晴	4.1	1.0
20	30.0	23.4	91	雨	雨	3.3	1.3
21	31.8	24.4	92	晴	晴	—	1.1
22	28.4	18.1	53	晴	晴	—	1.4
23	28.0	18.4	57	晴	晴	—	1.7
24	26.0	17.4	58	晴	晴	—	1.8
25	30.4	16.4	78	晴	曇	—	1.5
26	27.2	13.2	100	曇	曇	—	1.3
27	28.0	23.2	100	晴	晴	—	1.2
28	26.4	18.2	100	曇	曇	4.0	1.0
29	30.2	21.0	100	曇	曇	—	1.2
30	26.8	19.8	100	曇	曇	—	1.1
10. 1	30.0	22.4	88	曇	曇	—	2.0
2	30.0	23.2	100	曇	曇	3.2	2.2
3	31.4	22.4	87	曇	曇	—	0.9
4	26.8	22.0	83	曇	曇	—	0.8
5	28.9	23.2	87	晴	晴	—	1.2
6	30.0	23.0	100	晴	晴	—	2.2
7	29.2	24.4	87	晴	晴	4.3	1.6
8	30.4	25.6	100	雨	雨	44.2	0.9
9	27.6	25.6	79	雨	雨	68.2	1.0
10	29.0	22.6	81	曇	雨	7.6	1.0
11	30.2	24.4	88	晴	雨	0.8	0.9
12	30.4	23.2	88	晴	曇	67.2	0.7
13	30.4	22.4	100	晴	雨	5.1	0.8
14	30.8	22.4	92	晴	雨	11.0	0.7
15	—	—	—	曇	雨	9.5	0.5

	16	30.6	23.4	91	晴	晴	—	0.7
	17	31.0	19.4	74	晴	晴	—	0.8
	18	31.4	22.4	74	晴	曇	11.8	0.5
	19	27.8	18.0	87	晴	晴	—	1.5
	20	28.2	22.4	91	曇	曇	—	1.3
	21	28.4	20.0	69	晴	晴	2.7	1.7
	22	26.8	18.2	70	雨	曇	—	1.8
	23	28.8	19.4	75	晴	晴	—	0.6
	24	24.0	17.8	81	曇	曇	1.3	0.9
	25	25.4	17.6	80	曇	曇	—	1.2
	26	23.4	18.0	91	晴	曇	—	1.2
	27	23.4	12.8	89	曇	曇	—	0.5
	28	23.0	19.4	72	晴	晴	—	1.1
	29	26.5	20.4	70	晴	晴	4.4	1.2
	30	26.4	20.4	85	曇	曇	—	0.8
	31	21.2	19.0	80	曇	曇	—	1.1
11.	1	22.6	17.6	71	曇	曇	—	1.2
	2	28.8	22.0	79	晴	晴	—	1.5
	3	28.2	20.0	74	晴	晴	—	1.7
	4	28.9	20.6	85	曇	曇	—	0.7
	5	26.6	22.8	74	晴	晴	—	0.8
	6	28.4	20.0	77	曇	曇	—	2.0
	7	27.2	25.1	66	曇	曇	—	1.5
	8	28.6	23.4	69	曇	晴	—	1.3
	9	28.6	20.4	73	曇	曇	—	0.8
	10	26.6	12.2	90	曇	曇	—	0.8
	11	23.4	12.4	76	曇	曇	—	1.2
	12	25.2	20.4	64	曇	晴	—	1.3
	13	24.2	12.4	59	晴	曇	—	1.8
	14	24.5	18.2	65	晴	晴	—	1.6
	15	23.6	17.6	90	晴	曇	—	1.2
	16	24.6	15.8	81	晴	晴	26.8	0.9
	17	27.6	16.8	81	晴	晴	—	1.0
	18	27.6	19.2	67	晴	晴	1.8	0.8
	19	27.6	20.4	90	曇	晴	—	0.8
	20	25.6	14.4	80	晴	晴	—	1.2
	21	29.6	19.6	82	晴	晴	—	0.9
	22	31.0	19.6	71	晴	晴	—	1.0
	23	28.5	22.4	82	晴	晴	0.4	1.5

	24	25.0	20.0	90	晴	晴	—	0.7
	25	19.6	13.2	69	曇	曇	—	0.9
	26	17.4	10.2	65	晴	晴	—	0.9
	27	19.4	10.2	77	晴	晴	—	1.5
	28	22.0	10.2	67	晴	晴	—	1.4
	29	25.2	12.6	83	曇	曇	—	1.1
	30	22.2	12.6	77	曇	曇	—	1.2
12.	1	18.8	15.2	79	曇	曇	10.2	1.0
	2	20.2	17.0	89	曇	曇	—	0.7
	3	—	—	—	雨		3.2	0.9
	4	20.4	14.3	69	曇	曇	—	1.2
	5	19.2	15.8	65	曇	曇	—	1.4
	6	20.0	16.4	84	曇	曇	—	1.2
	7	22.5	17.8	76	曇	曇	0.8	1.5
	8	22.8	18.4	89	晴	晴	—	1.5
	9	25.4	15.4	71	晴	晴	—	1.1
	10	21.0	15.3	68	曇	曇	10.8	1.1
	11	23.0	12.6	72	雨	曇	1.3	1.1
	12	18.5	13.8	83	曇	曇	1.4	0.7
	13	17.5	14.3	78	曇	曇	—	0.7
	14	16.1	15.5	77	曇	曇	—	1.0
	15	21.1	15.1	62	晴	晴	—	1.5
	16	21.6	15.5	79	曇	曇	—	1.3
	17	19.3	15.4	79	曇	曇	—	1.0
	18	19.1	15.3	72	曇	曇	—	1.0
	19	15.8	13.1	78	曇	曇	—	1.5

要　　結

第4表　各液に依る誘致試驗成績一覽表

藥　　劑	誘殺數				試驗延日數	誘致瓶延總數
	柑橘小實蠅			雜　　蟲		
	♀	♂	計			
No. 3 クレンゼル	24	24	48	36	106	304
No. 4 臺農殺蟲第1號	0	307	307	45	99	304

No. 3 は前年度同時期に行つた成績と大同小異、唯比較的雌の誘致數が多き結果を得た。果實收穫後は圃場に集る實蠅少く誘致の效果尠し。No. 4 は全然雌を誘致せず。

(2) 嘉義農業試驗支所試驗成績

1 擔當責任者　農業試驗支所　技手　福田計氏。

2 場所嘉義市山仔頂臺灣總督府農業試驗支所の果樹園中、椪柑、斗柚、白柚、サボデラ、スリナムチエリー及柑橘見本園の6區11箇所を設定して施行せり。

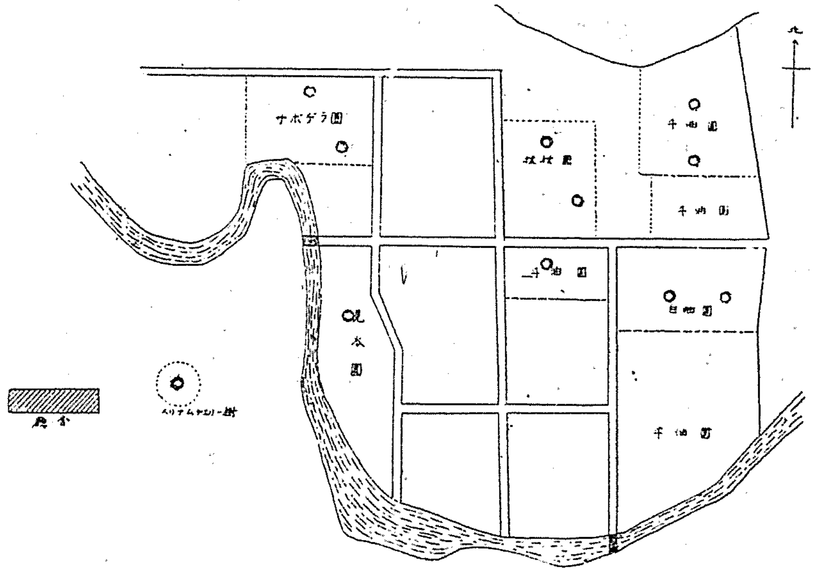
3 試驗施行期間は昭和14年10月2日より昭和15年4月1日に至る。

4 送附したる誘致劑は No. 1. No. 2. No. 3 (クレンゼル液)及 No. 4 (臺農殺蟲第1號液)の4種なるも No. 1. No. 2. は柑橘小實蠅に對し誘致效力劣り No. 3 は小量なりし爲之を中止し、專ら No. 4 のみ使用せり。

5 誘致瓶各1箇に就き7株乃至9株當りとし、液の濃度は15倍に之を稀釋し1器當り 100 cc を注入せり。

6 施行期間の誘致成績竝に其間の氣象觀測表次の如し。

嘉義試驗地見取圖



第5表　試藥 No. 4 に依る柑橘小實蠅誘致試驗成績一覽表

月　日	椪柑園			斗柚園[1]			斗柚園[2]			白柚園		
	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計
10. 2—10	3	341	344	5	327	332	0	243	243	1	547	548
〃 11—17	5	324	329	0	387	387	14	135	149	5	797	802
〃 18—24	0	92	92	1	34	35	7	66	73	7	284	291
〃 25—31	0	103	103	8	106	114	0	79	79	13	441	454
11. 1— 7	6	119	125	2	107	109	0	38	38	35	465	500
〃 8—14	18	76	94	0	27	27	0	49	49	27	139	166
〃 15—21	3	67	70	0	3	3	1	23	24	47	176	223
〃 22—28	0	22	22	0	0	0	0	3	3	2	32	34
〃 29—12.5	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4	68	72
12. 6—12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
〃 13—19	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
〃 20—26	0	0	0	中		止	0	0	0	0	0	0
〃 27— 1.2	0	0	0		—		0	0	0	0	0	0
1. 3— 9	0	0	0		—		0	0	0	0	0	0
〃 10—16	0	0	0		—		0	0	0	0	0	0
〃 17—22	0	0	0		—		0	0	0	0	0	0
〃 23—29	中		止		—		中		止	0	0	0
〃 30— 2.5		—			—			—		0	0	0
2. 6—12		—			—			—		中		止
〃 13—19		—			—			—			—	
〃 20—26		—			—			—			—	
〃 27— 3.4		—			—			—			—	
3. 5—11		—			—			—			—	
〃 12—18		—			—			—			—	
〃 19—25		—			—			—			—	
〃 26— 4.1		—			—			—			—	
計	35	1,148	1,183	16	991	1,007	22	636	658	141	2,953	3,094
延日數		113日			79日			113日			127日	

第5表 (續　き)

月　日	見本園			サボデラ園[1]			サボデラ園[2]			スリナムチエリー園		
	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計	♀	♂	計
10 2—10		—			—			—			—	
〃 11—17	10	251	261		—			—			—	

〃 18—24	2	322	324		—			—			—	
〃 25—31	14	449	463		—			—			—	
11. 1— 7	0	356	356		—			—			—	
〃 8—14	9	229	238		—			—			—	
〃 15—27	19	244	263		—			—			—	
〃 22—28	0	79	79		—			—			—	
〃 29—12.5	3	160	163		—			—			—	
12. 6—12	0	46	46		—			—			—	
〃 13—19	2	25	27		—			—			—	
〃 20—22	0	8	8		—			—			—	
12.27— 1.2	0	1	1		—			—			—	
1. 3— 9	0	0	0		—			—			—	
〃 10—16	0	0	0		—			—			—	
〃 17—22	0	0	0		—			—			—	
〃 23—29	0	0	0		—			—			—	
〃 30— 2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 6—12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
〃 13—19	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
〃 20—26	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	3	5
〃 27— 3.4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	5	3	8
3. 5—11	1	0	1	2	1	3	0	2	2	2	5	7
〃 12—18	1	1	2	3	1	4	3	5	8	1	2	3
〃 19—25	0	0	0	0	3	3	1	2	3	4	7	11
〃 26— 4.1	0	1	1	3	1	4	3	2	5	2	3	5
計	63	2,173	2,236	8	7	15	8	11	19	17	23	40
延日数		174日			63日			63日			63日	

第6表 試薬 No. 4 に依る雑蟲誘致試験成績一覧表

月日	椪柑			斗柚[1]			斗柚[2]			白柚		
	蠅類	カラゲフ	其他	蠅類	カラゲフ	其他	蠅類	カラゲフ	其他	蠅類	カラゲフ	其他
10. 2—10		—			—			—		7	30	0
〃 11—17		—			—			—		18	23	6
〃 18—24	54	10	3	5	14	1	16	20	0	30	10	8
〃 25—31	0	84	5	8	55	5	8	25	3	13	45	5
11. 1— 7	4	22	1	3	20	7	13	25	5	49	66	3
〃 8—14	0	32	0	0	15	2	0	27	0	4	36	0
〃 15—21	1	78	0	3	29	4	1	33	1	24	77	5

〃 22—28	0	41	3	0	17	2	5	29	7	2	9	2
〃 29—12.5	3	18	7	2	10	0	0	11	3	1	21	3
12. 6—12	1	28	0	0	5	3	3	5	0	0	6	0
〃 13—19	0	13	0	0	3	1	5	0	0	0	3	0
〃 20—26	0	22	1	中		止	0	0	0	3	7	0
〃 27— 1.2	2	0	3		—		0	3	5	0	1	5
1. 3— 9	0	0	0		—		7	0	0	0	0	0
〃 10—16	3	0	0		—		0	0	3	0	1	3
〃 17—22	1	0	0		—		0	0	0	2	0	0
〃 23—29	中		止		—		中		止	0	0	0
〃 30—25		—			—			—		5	0	1
2. 6—12		—			—			—		中		止
〃 13—19		—			—			—			—	
〃 20—26		—			—			—			—	
〃 27— 3.4		—			—			—			—	
3. 5—11		—			—			—			—	
〃 12—18		—			—			—			—	
〃 19—25		—			—			—			—	
〃 26— 4.1		—			—			—			—	
計	69	348	23	21	168	25	58	179	27	158	335	41

第6表（續き）

月日	見本園			サボデラ[1]			サボデラ[2]			スリナムチエリー		
	蠅類	カラゲフ	其他	蠅類	カラゲフ	其他	蠅類	カラゲフ	其他	蠅類	カラゲフ	其他
10. 2—10	45	55	10		—			—			—	
〃 11—17	28	39	7		—			—			—	
〃 18—24	26	33	9		—			—			—	
〃 25—31	145	118	2		—			—			—	
11. 1— 7	64	195	5		—			—			—	
〃 8—14	0	77	7		—			—			—	
〃 15—21	6	51	12		—			—			—	
〃 22—28	2	23	3		—			—			—	
〃 29—12.5	4	21	0		—			—			—	
12. 6—12	0	6	1		—			—			—	
〃 13—19	5	3	0		—			—			—	
〃 20—26	3	7	0		—			—			—	
〃 27— 1.2	0	1	3		—			—			—	
1. 3— 9	0	0	0		—			—			—	
〃 10—16	0	1	0		—			—			—	

〃 17—22	2	0	1		—			—			—	
〃 23—29	0	0	0		—			—			—	
〃 30—25	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1
2. 6—12	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3
〃 13—19	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0
〃 20—26	0		1	0	0	0	0	0	7	0	0	0
〃 27— 3.4	3	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	2
3. 5—11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
〃 12—18	0	0	3	0	0	1	3	0	0	5	0	1
〃 19—25	0	0	0	1	0	0	1	0	3	0	0	3
〃 26— 4.1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1
計	338	630	64	2	0	1	7	0	13	11	0	11

要　　結

第7表　試薬 No. 4 に依る誘致試験成績一覧表

誘殺数				試験延日数	誘致瓶延總數
柑橘小實蠅			雜蟲		
♀	♂	計			
310	7,942	8,252	2,519	183日	795箇

收穫後に於ては殆んど誘致せられず、誘致の最盛期は10月2日より收穫前の12月5日迄其間2箇月約65日間にして、誘致頭數8,083頭(誘致瓶5箇の成績)、1日平均124頭、1瓶24.8頭宛となる、其間總數8,083頭に對し雌は304、雄は7,779の割合なり。又雜蟲はキンバヘ、マダラバヘ、ハラアカイヘバヘ、クサカゲラフ、小蛾類、キバチ、コシボソバチ等なり。

第8表　氣象觀測表　　(昭和14年10月)

日	氣温			濕度	風		雲量	日照時	雨量	蒸發量
	平均	最高	最低		風向	速度				
1	25.6	26.8	22.0	90	N	0.09	10	0.45	8.2	0.4
2	28.0	27.6	21.3	76	N	0.14	6	5.42	0.5	1.6
3	27.0	30.7	25.7	85	N	0.38	6	7.42	0	3.0
4	28.8	31.2	21.5	73	NNW	0.45	4	8.00	0	4.1
5	26.2	31.7	23.2	89	NNW	0.61	7	5.48	0	3.5
6	29.8	32.2	21.5	69	WSW	0.43	2	8.30	0	4.0
7	29.8	34.8	21.0	72	W	0.40	2	9.48	0	4.3
8	28.8	33.0	21.1	77	NNW	0.54	5	7.06	0	3.9
9	23.0	32.5	22.5	96	SW	0.71	10	—	4.5	3.2
10	24.6	29.2	22.0	98	SSW	0.29	10	—	12.1	0.6
計	271.6	309.7	222.3	825		4.04		53.21	25.3	28.6
平均	27.2	31.0	22.2	825						
11	26.8	32.5	22.5	87	ESE	0.29	9	—	18.7	0.1
12	26.8	31.7	23.0	87	S	0.60	6	6.21	0.2	3.4
13	30.4	32.8	22.0	74	WNW	0.86	4	1.18	0	3.6
14	29.2	32.7	22.6	70	N	0.30	4	7.42	1.2	3.7
15	27.9	31.4	23.2	78	N	0.63	10	7.00	0	3.5
16	28.8	31.1	22.2	75	N	0.96	1	4.36	0	4.3
17	28.0	32.0	22.0	74	N	0.49	1	4.36	0	4.0
18	28.0	31.8	25.0	71	NNW	0.44	0	4.30	0	5.8
19	27.6	30.9	19.4	74	NNW	0.31	0	9.00	0	2.9
20	29.0	31.2	23.0	67	SSW	0.46	0	2.39	0	3.3
計	282.5	318.1	226.2	757		5.34		47.42	20.1	34.6
平均	28.3	31.8	22.6	75.7						
21	26.7	32.3	18.7	74	NW	0.36	0	5.36	0	3.8
22	26.4	31.0	23.0	75	NW	0.28	0	7.00	0	2.7
23	28.2	31.5	21.0	74	N	0.25	3	1.42	0	3.5
24	26.2	31.3	19.6	75	NNE	0.30	5	—	0	2.1
25	26.4	28.9	19.0	75	ENE	0.79	5	4.30	0	2.6
26	26.4	29.5	18.0	77	ENE	0.48	1	6.30	0	2.9
27	25.8	30.0	19.0	75	NE	0.37	3	8.42	0	2.9
28	26.0	29.5	23.0	67	N	0.83	0	7.06	0	3.7
29	28.0	30.7	18.3	69	NNE	0.41	6	6.36	0	4.3
30	26.0	32.0	18.7	87	E	0.95	1	6.00	0	3.1
31	24.8	30.2	17.8	75	NW	0.95	6	3.12	0	4.3
計	290.8	336.9	216.1	823		5.52		56.54	0	35.9
平均	26.4	30.6	19.6	74.8						
總平均	27.2	31.4	21.4	77.6				157.57	45.4	

（昭和14年11月）

日	氣温			濕度	風		雲量	日照時	雨量	蒸發量
	平均	最高	最低		風向	速度				
1	24.4	26.7	16.6	72	NNE	0.93	0	7.24	0	3.3
2	27.6	30.5	17.5	68	NNE	0.32	0	10.06	0	3.7
3	28.0	31.3	18.5	76	SW	0.24	1	8.18	0	3.4
4	26.8	32.5	21.7	78	N	0.30	1	6.12	0	3.3
5	25.8	31.8	20.7	83	NNE	0.18	7	0	0	2.8
6	26.8	29.2	21.5	82	N	0.41	7	1.12	0	2.0
7	26.4	30.9	22.0	84	NNW	0.17	8	0.30	0.3	2.0
8	26.2	29.0	20.5	82	NNE	0.10	6	3.42	1.2	1.4
9	24.6	30.0	22.3	86	NE	0.21	9	1.00	0	1.7
10	22.8	28.2	18.5	75	NE	0.05	0	6.12	0.2	2.1
計	259.4	300.1	199.8	780		2.91		44.36	1.7	25.7
平均	25.9	30.0	20.0	786						
11	23.2	29.3	16.5	80	ENE	1.74	4	8.36	0	3.1
12	25.2	29.5	17.5	73	NW	0.95	0	7.30	0	2.5
13	26.2	30.0	17.5	82	NW	0.90	0	6.42	0	3.9
14	26.3	28.6	17.8	69	N	0.23	0	8.06	0	2.5
15	23.2	30.8	16.2	80	NNW	0.30	0	7.42	0	2.9
16	26.0	29.5	16.5	73	NNW	0.40	2	5.24	0	3.0
17	25.0	30.0	18.5	76	NNW	0.44	0	7.48	1.2	2.3
18	24.4	29.7	17.2	79	NNE	0.64	2	4.54	0	3.4
19	24.8	31.8	18.8	80	NNW	1.76	7	5.54	0	3.0
20	28.2	30.2	18.8	64	ESE	0.48	0	7.06	0	3.0
計	252.5	299.4	175.3	756		7.78		69.42	0.2	29.6
平均	25.3	29.9	17.5	75.6						
21	24.6	31.7	20.0	85	NNE	0.48	0	5.0	0	2.8
22	29.2	32.0	19.5	65	NNE	0.21	1	7.24	0	2.8
23	27.8	33.0	20.4	77	NW	0.12	7	4.30	0	3.0
24	22.0	31.2	21.2	98	NW	0.38	10	3.06	5.4	2.1
25	19.4	30.5	18.5	96	N	0.40	10	—	27.7	1.0
26	26.2	23.0	15.0	78	N	0.28	10	—	0	0.2
27	24.0	23.0	14.5	82	N	1.06	10	4.12	0	0.2
28	22.0	23.5	11.0	68	NW	0.23	2	8.18	0	1.6
29	19.6	25.8	13.2	83	NW	1.42	9	3.30	0	2.4
30	18.4	22.5	10.7	76	NNW	0.99	0	7.12	0	2.4
計	233.2	276.2	164.0	808		5.57		43.12	33.1	185.2
平均	23.3	27.6	16.4	80.8						
總平均	24.4	29.2	18.0	78.3				157.3	35.0	

（昭和14年12月）

日	氣温			濕度	風		雲量	日照時	雨量	蒸發量
	平均	最高	最低		風向	速度				
1	19.6	24.5	13.2	83	N	0.33	8	6.24	0	2.4
2	20.6	26.0	16.6	85	NNE	0.36	1	8.12	0	2.3
3	19.8	20.5	15.2	75	N	1.32	3	7.42	0	3.2
4	18.4	24.7	12.0	76	NNW	0.59	6	6.12	0	2.5
5	20.0	23.8	12.8	73	N	0.49	5	3.24	0	2.4
6	22.0	25.0	13.0	73	NNW	0.22	1	8.12	0	1.8
7	22.2	27.0	14.5	75	NNW	0.37	0	7.42	0	2.4
8	20.3	26.5	14.0	80	NW	0.23	0	5.24	0	2.1
9	22.0	27.5	12.3	73	NE	0.29	0	8.06	0	2.3
10	21.0	29.2	10.4	70	E	0.64	0	7.43	0	3.1
計	206.4	254.6	133.4	763		4.84		67.01	0	24.5
平均	20.6	25.5	13.3	763						
11	17.4	29.5	8.8	76	NNW	0.84	2	7.54	0	2.7
12	20.4	24.7	10.2	70	ESE	0.22	0	8.54	0	2.5
13	18.6	26.0	9.5	76	NNW	0.26	0	7.36	0	2.0
14	19.2	23.7	8.8	75	NNE	0.65	0	8.48	0	2.5
15	20.4	25.2	14.5	68	NNW	0.40	0	8.24	0	2.5
16	21.0	26.2	15.0	72	NNE	0.44	0	8.42	0	2.2
17	19.2	24.7	17.3	81	NNE	0.52	0	6.54	0	2.5
18	18.6	25.7	15.2	83	NNE	1.17	10	3.24	0	2.5
19	16.6	23.0	12.7	82	NE	0.67	10	1.00	0	2.0
20	20.4	20.9	8.6	72	NW	0.67	0	8.00	0	2.4
計	193.4	254.6	120.6	755		0.29		69.36	0	24.8
平均	19.4	25.5	12.1	75.5		5.46				
21	19.6	26.2	11.5	77	WNW	0.44	6	6.12	0	2.6
22	20.8	25.7	16.5	74	NE	1.05	5	1.24	0	3.1
23	20.0	22.3	12.9	72	NNW	1.88	7	1.54	0.2	1.7
24	17.4	22.9	10.5	76	N	0.86	0	7.30	0	1.7
25	17.4	24.3	9.5	74	N	0.52	0	8.30	0	2.6
26	16.0	22.1	6.4	75	NNE	0.98	0	8.36	0	2.5
27	18.4	23.4	7.2	73	N	0.47	0	8.54	0	2.7
28	16.6	24.0	5.5	69	NNW	0.56	0	8.24	0	2.4
29	16.4	24.5	5.5	77	NNE	0.59	0	7.42	0	2.5
30	16.6	24.0	5.0	65	NW	0.76	0	8.42	0	3.3
31	18.0	23.3	6.0	67	NNW	0.53	0	7.42	0	2.8
計	197.2	262.7	96.5	799		8.64		75.30	0.2	27.9
平均	19.9	23.9	8.8	77.6						
總平均	19.3	24.9	11.3	74.7				212.07	0.2	

（昭和15年1月）

日	氣温 平均	氣温 最高	氣温 最低	濕度	風 風向	風 速度	雲量	日照時	雨量	蒸發量
1	15.4	23.3	10.5	76	NE	0.59	6	5.54	0	2.6
2	15.8	23.8	9.0	79	NNE	0.58	7	1.48	0	2.7
3	16.8	22.5	11.5	69	ENE	0.47	8	5.18	0.2	3.0
4	19.9	23.8	9.7	69	N	0.41	1	8.36	0	2.2
5	23.0	26.5	10.0	55	NNE	0.28	6	8.06	0	2.5
6	23.4	27.4	13.9	63	N	0.51	0	9.06	0.3	3.1
7	20.6	27.8	8.7	65	NW	0.65	0	9.54	0	2.8
8	18.2	28.4	7.0	80	NW	0.20	0	8.54	0.1	2.9
9	20.0	26.8	9.7	61	N	0.41	3	8.06	0	2.7
10	19.2	26.0	9.3	71	N	0.60	1	6.00	0	2.9
計	192.3	256.3	99.3	688		4.70		71.42	0.6	27.4
平均	19.2	25.6	9.9	68.8						
11	21.6	25.3	9.2	74	NW	0.44	0	4.06	0	2.2
12	19.4	26.1	18.8	83	NNW	0.23	0	0.42	0	2.6
13	23.4	24.4	14.5	58	NW	0.28	0	8.54	0	1.4
14	20.4	26.7	10.5	76	N	0.81	0	8.30	0	3.3
15	20.5	26.5	11.9	73	ENE	0.44	8	2.12	0	2.9
16	21.4	23.3	14.9	74	NNW	0.51	5	3.36	7.0	4.7
17	16.2	23.2	9.8	82	ENE	1.21	6	7.48	0	2.0
18	19.0	25.5	8.5	72	NE	0.40	0	9.24	0	2.5
19	19.0	24.7	8.6	69	N	0.69	2	8.18	0	2.8
20	17.8	24.7	9.5	84	WNW	0.36	10	.30	0.2	3.0
計	198.1	248.9	116.2	745		5.37		54.00	7.2	27.4
平均	19.8	24.9	11.6	74.5						
21	17.4	23.5	12.4	92	WNW	0.33	10	0.30	0.1	1.4
22	16.2	19.8	12.7	86	NNE	2.03	4	6.12	0	1.2
23	10.0	23.1	9.4	94	N	0.26	10	—	0	2.6
24	10.0	12.1	7.5	83	ENE	0.61	10	2.42	0.5	0.6
25	13.2	14.7	4.4	71	NNW	0.75	3	7.24	0	1.3
26	11.2	21.0	9.2	92	NW	0.83	9	0.48	0.5	2.9
27	14.8	15.5	6.5	79	N	0.49	0	6.42	0	0.8
28	17.2	22.8	11.4	78	ENE	0.51	8	2.42	0.2	2.4
29	20.2	22.0	12.8	77	N	1.22	6	2.00	0	1.7
30	19.2	24.2	15.0	83	NE	1.26	7	1.30	0	2.2
31	17.4	22.7	10.0	93	NNE	1.03	9	2.42	0.6	1.6
計	166.8	221.4	111.3	928		9.32		33.18	2.9	18.7
平均	15.2	20.1	10.1	84.3						
總平均	17.9	23.4	10.5	76				159.00	10.7	

（昭和15年2月）

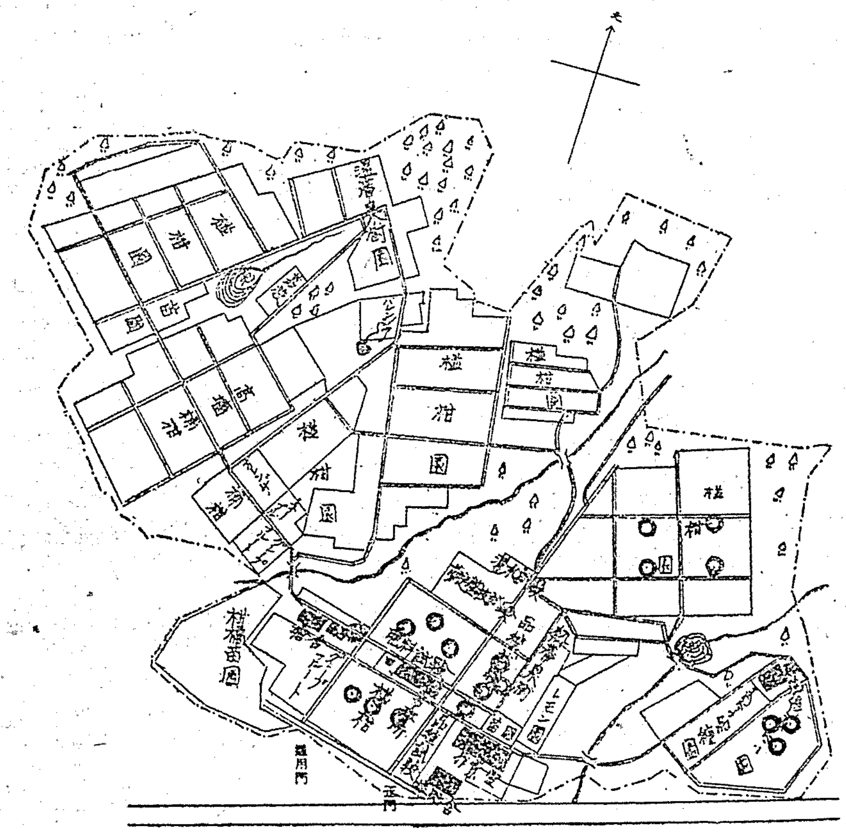
日	氣温 平均	氣温 最高	氣温 最低	濕度	風 風向	風 速度	雲量	日照時	雨量	蒸發量
1	19.5	24.0	14.5	84	NNW	0.74	0	6.00	0	1.3
2	18.4	26.5	13.5	83	NE	0.53	10	3.54	0.3	2.2
3	11.0	23.0	6.0	81	NNW	1.72	2	4.54	0	2.7
4	17.8	16.8	7.7	84	NNE	0.40	0	8.12	0	1.8
5	20.2	24.6	12.3	63	NE	0.38	0	8.48	0	3.0
6	20.8	29.0	12.3	76	N	0.49	0	7.24	0	3.6
7	14.6	23.8	10.5	83	NNE	1.87	9	0.12	0.4	3.4
8	14.0	20.5	9.0	74	N	1.10	10	1.30	0	2.3
9	16.8	18.0	10.2	73	NNW	0.98	0	7.36	0	2.0
10	20.0	23.4	9.2	68	N	0.73	0	10.12	0	3.9
計	173.1	229.6	105.2	769		8.96		58.42	0.7	26.2
平均	17.3	23.0	10.5	76.9						
11	19.6	25.0	14.6	67	NW	1.31	0	8.42	0	4.5
12	23.8	26.9	11.2	59	WNW	0.74	0	10.6	0	3.0
13	25.2	29.0	14.8	62	NNW	0.19	2	6.48	0	3.2
14	18.2	26.5	14.0	87	NNW	2.17	3	7.36	0	2.4
15	21.0	26.5	14.0	72	NW	0.12	3	7.06	0	3.8
16	18.0	24.7	14.2	87	W	0.19	9	7.00	0.2	3.1
17	20.0	27.8	15.0	68	WS	1.47	9	1.42	0	2.5
18	20.6	24.8	11.5	66	SWS	0.99	1	8.30	0	2.3
19	19.4	27.7	13.2	79	N	0.88	6	8.00	0	2.5
20	24.6	29.0	14.5	60	NNW	0.68	1	8.18	0	3.0
計	210.4	267.8	137.0	707		9.74		73.48	0.2	30.3
平均	21.0	26.8	13.7	70.7						
21	18.4	27.7	14.5	68	ENE	1.34	9	5.36	0	2.8
22	14.6	24.5	11.0	74	NW	1.59	3	5.06	0	3.2
23	18.2	22.3	9.0	63	W	1.03	0	9.06	0	1.7
24	21.8	26.5	8.5	61	NW	0.63	0	8.48	0	3.9
25	25.2	27.2	11.9	55	N	0.52	0	8.30	0	4.2
26	20.0	19.3	14.5	83	N	1.94	0	5.18	0	4.2
27	21.6	27.8	11.3	73	NNW	0.67	0	8.30	0	2.1
28	25.2	27.8	14.0	65	NNW	0.59	1	6.06	0	4.4
29	22.0	32.2	15.2	74	W	0.85	5	2.36	0	4.3
計	187.0	235.3	109.9	616		9.16		59.36	0	30.8
平均	20.8	26.1	12.2	684						
總平均	19.7	25.3	12.1	72				192.06	0.9	

（昭和15年３月）

日	氣温			濕度	風		雲量	日照時	雨量	蒸發量
	平均	最高	最低		風向	速度				
1	18.4	24.4	11.2	74	NW	風速度調査なし	2	7.48	0	1.8
2	21.4	23.5	9.0	66	SSW		0	6.24	0	3.2
3	21.4	27.4	13.5	67	WNW		0	9.48	0	3.0
4	26.4	27.2	14.3	56	NNW		0	7.30	0	4.2
5	27.8	31.5	14.0	71	W		0	7.06	0	4.7
6	21.8	31.7	18.2	85	NE		9	8.00	0.1	2.9
7	24.2	31.8	16.0	76	N		0	8.18	0	3.6
8	20.0	31.7	15.5	89	E		9	0.30	0	3.7
9	22.8	24.8	18.8	79	N		5	2.00	0	2.0
10	19.8	25.5	15.0	91	N		10	1.42	0.2	1.7
計	224.0	279.5	145.5	754				59.06	0.3	30.8
平均	22.4	28.0	14.6	754						
11	18.2	26.3	15.0	87	N		9	4.38	18.4	6.1
12	19.8	21.2	9.3	61	NE		6	9.00	0	3.4
13	23.0	26.3	9.5	59	NNW		3	6.00	0	3.4
14	22.8	28.4	10.5	68	NW		0	11.06	0	3.2
15	26.4	30.2	14.4	62	NNW		2	5.12	0	2.8
16	16.2	32.5	15.5	98	NE		10	0	20.5	6.9
17	14.6	19.2	13.0	93	NNE		10	0	78.0	不
18	13.4	17.6	12.0	95	NNE		10	0	1.3	5.2
19	18.6	20.4	14.0	95	N		10	0.48	3.8	不
20	17.6	20.2	12.0	80	ESE		4	3.12	8.8	2.6
計	190.6	242.3	125.2	798				39,57	131.3	33.6
平均	19.1	24.2	12.5	79.8						
21	14.4	19.8	14.5	90	NNE		10	0	0.1	1.0
22	15.6	18.0	14.5	83	NNE		10	1.06	0	0.4
23	17.4	22.5	13.4	88	WNW		10	0	0.1	1.0
24	18.0	19.5	15.5	98	WNW		10	0.36	53.2	不
25	21.2	21.5	15.8	87	NE		3	0	7.2	0.6
26	18.8	25.0	14.5	85	NW		10	3.54	0.1	1.8
27	21.2	25.0	14.7	83	NNW		7	2.06	0	2.0
28	18.8	25.0	14.6	80	NNW		6	5.54	0	2.0
29	20.0	27.5	17.0	71	N		2	9.00	0	4.8
30	25.0	29.8	16.5	78	NNW		2	7.54	25.4	3.0
31	26.4	30.2	18.8	79	NNW		4	5.00	24.3	2.8
計	223.8	263.8	169.8	922				35.30	110.4	19.4
平均	22.4	26.4	17.0	83.8						
總平均	20.6	25.3	14.2	80					242.0	

（３） 新竹州農會試驗成績

新竹州農會 柑橘指導園圖
新竹郡香山庄



要　項

1　擔當責任者　新竹州技師　彌富忠夫氏

2　場所　新竹州香山庄、新竹州農會柑橘指導園。同地は海拔 30 m あり、南面傾斜の階段園にして椪柑 2,185本、レモン 120本、サボン 208本、其の他1,382本の外熱帶及温帶果樹418本栽植せり。

3　試驗施行期間　昭和14年6月13日より同年11月10日に至る。

4　送附したる誘致劑は No.1, No.2, No.3（クレンゼル液）及 No.4（臺農殺蟲第1號液）なり。

5　No.1 及 No.2 は6月13日より11月3日迄施行し、No.3 は6月13日より9月1日迄、No.4 は9月1日より11月10日迄施行せり。

6　各液に係る誘致成績竝に其期間の氣象觀測表次の如し。

第9表　試藥 No.1 及 No.2 に依る誘致試驗成績一覽表

期間	試藥 No.1 誘殺數 實蠅	試藥 No.1 誘殺數 雜蟲	試藥 No.1 場所	試藥 No.1 器數	試藥 No.2 誘殺數 實蠅	試藥 No.2 誘殺數 雜蟲	試藥 No.2 場所	試藥 No.2 器數
14年 6月13 —19日	0	20	レモン園	1	0	6	ザボン園	1
6月20 —24日	0	11	レモン園	1	0	1	ザボン園	1
6月25 —30日	0	115	レモン園	1	0	14	ザボン園	1
7月1 —7日	0	13	椪柑園	1	0	9	レモン園	1
7月8 —14日	0	20	ザボン園	1	0	12	椪柑園	1
7月15 —21日	0	1	レモン園	1	0	1	ザボン園	1
7月22 —28日	0	4	椪柑園	1	0	14	レモン園	1
7月29日— 8月4日	0	5	ザボン園	1	0	15	椪柑園	1
8月5 —11日	0	2	レモン園	1	0	19	ザボン園	1
8月12 —18日	0	1	椪柑園	1	0	8	レモン園	1
8月19 —25日	0	3	ザボン園	1	0	4	椪柑園	1
8月26日— 9月1日	1	6	レモン園	1	0	9	ザボン園	1
9月2 —8日	0	12	レモン園	2	0	8	レモン園	2
〃	0	6	椪柑園	2	0	4	椪柑園	2
〃	0	4	ザボン園	2	0	3	ザボン園	2
9月9 —15日	0	17	レモン園	2	0	2	レモン園	2
〃	0	14	椪柑園	2	0	3	椪柑園	2
〃	0	2	ザボン園	2	0	2	ザボン園	2
9月16 —22日	0	4	レモン園	2	0	2	レモン園	2
〃	0	4	椪柑園	2	0	5	椪柑園	2
〃	0	4	ザボン園	2	0	2	ザボン園	2
9月23 —29日	3	0	レモン園	2	0	8	レモン園	2
〃	0	8	椪柑園	2	0	6	椪柑園	2
〃	0	1	ザボン園	2	0	8	ザボン園	2
9月30日—10月6日	0	0	レモン園	2	0	4	レモン園	2
〃	0	1	椪柑園	2	0	3	椪柑園	2
〃	0	3	ザボン園	2	0	5	ザボン園	2
10月7 —13日	0	10	レモン園	2	0	5	レモン園	2
〃	0	3	椪柑園	2	0	1	椪柑園	2
〃	0	2	ザボン園	2	1	3	ザボン園	2
10月14 —20月	0	2	レモン園	2	0	4	レモン園	2
〃	0	2	椪柑園	2	0	4	椪柑園	2
〃	0	5	ザボン園	2	0	1	ザボン園	1
10月21 —27日	1	7	レモン園	2	0	8	レモン園	2
〃	0	11	ザボン園	2	0	16	ザボン園	2
〃	1	16	椪柑園	2	0	9	椪柑園	2
10月28日—11月3日	0	6	椪柑園	2	0	3	椪柑園	1
〃	0	7	レモン園	2	0	5	レモン園	1
〃	0	3	ザボン園	2	0	2	ザボン園	1
自 6月13日—11月3日 延日數 144日	頭 6	頭 355		箇 207	頭 1	頭 218		箇 179

第10表　試藥 No.3（クレンゼル液）に依る誘致試驗成績一覽表

期間	誘殺數 實蠅	誘殺數 雜蟲	場所	器數
6月13 —19日	0	2	椪柑園	1
6月20 —24日	0	8	椪柑園	1
6月25 —30日	0	108	椪柑園	1
7月1 —7日	0	3	ザボン園	1
7月8 —14日	0	2	椪柑園	1
7月15 —21日	0	1	椪柑園	1
7月22 —28日	0	4	ザボン園	1
7月29日— 8月4日	0	11	レモン園	1
8月5 —11日	0	1	椪柑園	1

8月12 —18日	0	3	ザボン園	1
8月19 —25日	0	2	レモン園	1
8月26日— 9月 1日	0	2	椪柑園	1
自 6月13日 至 9月 1日 延日數 80 日間	0	147頭		80箇

第11表 試薬 No. 4 (臺農殺蟲第1號)に依る誘致試驗成績一覽表

期間	誘殺數		場所	器數
	實蠅	雜蟲		
14年 9月 1 — 8日	65	46	レモン園	2
〃	30	28	椪柑園	2
〃	15	1	ザボン園	2
9月 9 —15日	23	7	レモン園	3
〃	20	4	椪柑園	3
〃	8	5	ザボン園	3
〃	9	6	事務所前椪柑園	2
〃	7	4	七區椪柑園	1
〃	0	0	八區椪柑園	1
〃	3	4	九區椪柑園	1
〃	11	3	十區椪柑園	1
9月16 —22日	18	4	レモン園	3
〃	8	12	椪柑園	3
〃	5	11	ザボン園	3
〃	5	34	事務所前椪柑園	2
〃	0	0	七區椪柑園	1
〃	0	0	八區椪柑園	1
〃	0	0	九區椪柑園	1
〃	0	0	十區椪柑園	1
9月23 —29日	8	30	レモン園	3
〃	6	3	椪柑園	3
〃	7	4	ザボン園	3
〃	1	2	事務所前椪柑園	2
〃	2	4	温州園	1
〃	2	2	七區椪柑園	1
〃	0	1	八區椪柑園	1
〃	2	5	九區椪柑園	1
〃	0	0	十區椪柑園	1

14年 9月30日—10月 6日	4	7	レモン園	3
〃	7	4	椪柑園	3
〃	6	7	ザボン園	3
〃	7	5	事務所前椪柑園	2
〃	1	7	温州園	1
〃	2	1	七區椪柑園	1
〃	1	1	八區椪柑園	1
〃	3	1	九區椪柑園	1
〃	1	1	十區椪柑園	1
10月 7 —13日	8	1	レモン園	2
〃	17	0	椪柑園	2
〃	4	1	ザボン園	2
10月14 —20日	8	1	レモン園	3
〃	2	4	椪柑園	3
〃	3	5	ザボン園	3
〃	1	2	事務所前椪柑園	2
〃	4	4	温州園	1
〃	3	4	七區椪柑園	1
〃	0	0	八區椪柑園	1
〃	0	4	九區椪柑園	1
〃	5	2	十區椪柑園	1
10月21 —27日	8	5	レモン園	3
〃	1	4	ザボン園	3
〃	2	15	椪柑園	3
〃	2	12	事務所前椪柑園	2
〃	19	3	井戸端温州園	1
〃	0	0	七區椪柑園	1
〃	0	0	八區椪柑園	1
〃	0	0	九區椪柑園	1
〃	0	0	十區椪柑園	1
〃	0	0	六區品種オレンヂ園	1
10月28日—13月 3日	2	2	椪柑園	3
〃	4	1	レモン園	3
〃	0	5	ザボン園	3
〃	2	1	事務所前椪柑園	2
〃	2	1	井戸端温州園	1
〃	0	2	七區椪柑園	1
〃	1	2	八區椪柑園	1
〃	0	4	九區椪柑園	1

〃	1	23	十區椪柑園	1
〃	0	2	六區品種オレデン園	1
14年11月 —10日	3	6	レモン園	2
〃	1	4	椪柑園	2
〃	2	10	ザボン園	2
〃	6	32	見本園温州園	1
延 71 日 計	398頭	416頭		928箇

第12表 氣象觀測表 (自昭和14年6月15日 至昭和14年11月10日)

月 日	氣温			温度	天候		降雨量	風	
	最高	最低	平均		午前	午後		風向	風速
6. 15	37.5	23.0	26.8	77	曇	晴	28.0	S	和
16	31.0	25.0	28.8	72	晴	曇	—	S	疾
17	30.0	25.0	28.0	74	曇	雨	—	S	疾
18	30.0	24.0	23.4	97	雨	雨	125.0	S	和
19	30.0	22.5	23.5	100	雨	雨	105.0	S	和
20	31.5	22.0	29.5	67	曇	曇	87.5	S	和
21	31.0	25.0	29.6	68	晴	晴	—	S	和
22	31.0	27.0	28.8	76	晴	晴	—	S	疾
23	31.0	24.0	30.0	68	晴	曇	—	S	疾
24	31.0	24.0	29.0	69	晴	晴	—	S	疾
25	30.0	24.0	28.5	70	晴	晴	—	S	和
26	30.2	26.0	28.6	65	晴	晴	—	S	疾
27	32.0	27.0	29.2	69	晴	曇	—	S	疾
28	32.0	28.0	28.5	68	晴	曇	—	S	疾
29	32.0	26.5	29.0	65	晴	曇	—	S	疾
30	31.2	24.2	29.5	68	晴	曇	—	S	和
7. 1	32.5	23.5	28.8	76	晴	晴	—	W	軟
2	32.5	24.0	29.0	76	晴	晴	—	W	軟
3	32.0	23.3	28.0	79	晴	晴	—	SW	和
4	30.1	23.0	29.5	64	晴	晴	—	S	和
5	31.0	23.0	29.5	65	晴	晴	—	W	軟
6	32.0	23.0	30.0	71	晴	晴	—	W	軟
7	32.1	22.0	29.2	69	晴	晴	—	W	軟
8	31.0	23.0	28.5	81	晴	晴	—		静
9	31.5	23.4	28.8	80	晴	晴	—		静
10	32.5	23.0	28.2	85	晴	晴	—		静
11	32.0	23.0	29.5	72	晴	晴	—		静
12	32.5	23.1	28.3	80	晴	晴	—	W	軟
13	33.5	25.0	30.0	71	晴	雨	—	W	軟
14	27.0	25.0	26.0	96	雨	雨	25.2	N	軟
15	31.0	25.0	26.8	85	雨	曇	35.0	W.S	軟
16	30.0	24.3	29.0	75	曇	雨	10.0	W.S	軟
17	30.0	24.5	27.3	88	曇	雨	15.0	W.S	軟
18	28.0	23.2	25.5	95	雨	雨	50.0		静
19	27.0	23.0	25.5	91	雨	曇	0.3		静
20	31.0	22.3	25.5	77	雨	曇	0.2	S	軟
21	31.0	25.0	28.5	83	曇	曇	—	S	和
22	32.0	24.0	26.3	88	曇	曇	15.0	N	和
23	31.0	23.0	27.0	78	晴	晴	40.3	SW	和
24	31.0	22.0	24.0	98	雨	晴	—	S	疾
25	30.0	22.0	28.4	69	曇	晴	—	S	和
26	31.0	24.5	29.4	68	曇	曇	—	S	和
27	30 5	23.0	29.5	72	曇	曇	—		静
28	30.5	24.0	28.7	77	曇	雨	—	S	軟
29	27.0	23.0	26.7	80	曇	曇	90.2		静
30	27.5	22.0	23.5	95	雨	雨	90.3		静
31	30.0	22.0	26.5	82	曇	晴	80.0	N	疾
8. 1	31.5	21.0	25.6	90	曇	晴	0.5	N	疾
2	31.5	21.0	28.0	76	晴	晴	—	S	軟
3	30.0	24.0	27.8	78	曇	曇	—		静
4	30.2	23.0	27.8	85	曇	曇	—		静
5	32.0	26.0	29.0	74	晴	晴	—	S	疾
6	31.0	26.2	29.0	94	晴	晴	—	SW	和
7	30.0	24.3	29.2	77	晴	晴	—	SW	軟
8	32.0	25.5	28.5	75	晴	曇	—	SW	軟
9	32.0	24.4	29.0	80	晴	曇	—		静
10	32.0	26.0	28.8	79	晴	曇	20.0		静
11	32.0	24.0	29.0	75	晴	曇	0.1	S	軟
12	28.0	23.0	26.8	87	曇	雨	—	S	軟
13	29.2	24.0	26.2	84	雨	曇	40.0		静
14	31.0	24.0	26.5	94	雨	雨	50.0		静
15	32.0	24.0	28.4	85	晴	曇	0.2		静
16	32.0	23.2	28.4	83	晴	曇	0.5		静
17	32.2	23.0	27.4	87	晴	晴	0.15	W	軟
18	31.5	24.5	29.0	79	晴	晴	—	S	軟

	19	33.0	26.0	28.5	95	曇	晴	—		静
	20	33.5	23.0	27.0	81	晴	晴	—	N	軟
	21	33.0	21.5	29.0	70	晴	曇	—		静
	22	32.0	21.0	27.5	67	晴	晴	—		静
	23	32.0	22.0	28.6	73	晴	晴	—	S	軟
	24	33.0	23.0	29.0	75	晴	晴	—	W	軟
	25	33.0	23.0	28.5	72	晴	晴	—	N	軟
	26	32.0	22.5	28.5	63	晴	晴	—	N	軟
	27	30.5	23.5	26.1	96	雨	晴	2.5	N	軟
	28	31.0	22.0	28.8	77	晴	曇	4.8	S	軟
	29	31.0	21.5	28.5	71	晴	晴	—	S	和
	30	31.0	21.0	28.4	77	晴	曇	—	S	和
	31	31.0	20.0	29.1	69	晴	晴	—	S	軟
9.	1	32.0	23.0	28.0	84	晴	晴	—	S	軟
	2	32.0	23.5	29.0	72	晴	雨	—	S	軟
	3	32.0	24.0	29.0	83	晴	曇	10.2	S	軟
	4	31.5	24.0	29.0	76	晴	雨	0.3		静
	5	31.0	24.0	26.0	91	曇	曇	—		静
	6	32.0	24.5	28.4	81	晴	曇	—		静
	7	31.0	26.0	28.5	94	晴	曇	—	S	和
	8	31.3	26.0	29.5	74	晴	曇	—	S	疾
	9	33.0	23.3	24.3	99	雨	雨	102.9	S	軟
	10	32.0	19.0	26.0	82	晴	晴	10.2		静
	11	31.0	21.5	26.5	84	晴	晴	0.01		静
	12	31.5	23.0	26.0	90	晴	晴	—	N	軟
	13	31.0	22.0	27.4	78	晴	晴	0.02	N	軟
	14	31.5	22.0	27.2	83	晴	晴	—	N	軟
	15	31.5	22.5	27.9	77	晴	晴	—	N	軟
	16	31.0	23.0	28.0	76	晴	晴	—	W	軟
	17	32.0	24.0	27.0	82	晴	晴	—		静
	18	32.0	23.5	27.0	90	晴	晴	—	W	軟
	19	32.5	23.0	27.5	81	晴	晴	—	N	軟
	20	29.0	21.5	27.5	80	晴	曇	—	N	和
	21	30.5	22.5	27.2	88	晴	晴	—	N	和
	22	29.0	22.0	25.0	86	晴	晴	—	N	和
	23	29.0	19.0	25.0	64	晴	晴	—	N	和
	24	20.0	17.5	26.0	60	晴	晴	—	N	和
	25	35.0	18.0	24.0	77	曇	曇	—	N	軟
	26	31.0	18.0	24.5	78	曇	曇	—	N	軟

	27	30.0	21.0	26.0	83	晴	晴	—		静
	28	32.0	23.0	24.9	96	曇	曇	—	N	疾
	29	30.0	21.4	23.0	99	曇	曇	0.1	N	疾
	30	31.5	21.2	23.4	87	曇	曇	—	N	和
10.	1	29.0	19.0	20.5	95	曇	曇	0.3	N	軟
	2	29.0	19.0	25.3	79	曇	晴	—	N	軟
	3	29.0	22.5	25.5	76	曇	曇	—	N	軟
	4	29.0	20.5	25.0	85	晴	曇	—		静
	5	30.3	21.9	25.4	83	曇	晴	—	N	軟
	6	33.0	20.2	23.9	78	晴	晴	—	N	軟
	7	32 2	20.5	28.0	69	晴	晴	—	N	軟
	8	28.9	23.3	26.2	87	曇	曇	—	N.E	疾
	9	27.2	25.0	26.8	91	曇	雨	—	N	强
	10	28.0	22.1	26.4	84	曇	雨	0.3	N	和
	11	30.3	22.9	25.4	94	曇	曇	0.2		静
	12	30.0	23.0	26.2	87	曇	曇	2.2	N	軟
	13	30.5	22.5	26.3	85	晴	晴	0.01	N	軟
	14	30.2	21.5	26.5	84	晴	晴	—		静
	15	30.0	21.0	27.2	74	曇	曇	—	N	軟
	16	30.5	23.0	27.0	78	晴	晴	10.0		静
	17	30.0	18.0	24.0	72	晴	晴	—	N	軟
	18	30.0	17.0	24.5	73	晴	曇	—	N	和
	19	29.5	20.9	25.9	76	晴	晴	0.02	N	和
	20	27.5	20.0	24.4	74	晴	晴	—	N	疾
	21	27.8	20.0	23.6	69	晴	晴	—	N	疾
	22	29.5	19.0	24.9	72	晴	晴	—	N	和
	23	30.0	21.0	25.4	71	晴	曇	—	N	和
	24	24.5	21.0	23.5	81	曇	曇寒	0.1	N	和
	25	24.0	19.0	21.9	100	曇	曇	—	N	疾
	26	26.5	18.5	21.8	75	曇	曇	—	N	疾
	27	27.5	17.0	24.2	65	曇	曇	—	N	和
	28	27.0	17.5	22.2	81	晴	晴	—	N	軟
	29	22.0	18.5	23.0	83	曇	晴後曇	—	N	軟
	30	27.5	20.0	20.5	98	雨	曇	60.0	N	疾
	31	27.5	17.5	19.0	89	曇	曇	0.2	N	疾
11.	1	25.0	16.5	20.5	79	晴	晴	—	N	疾
	2	32.1	19.5	22.9	76	晴	晴	—	N	軟
	3	29.0	21.4	26.9	77	晴	晴	—	N	軟
	4	29.5	21.5	22.5	94	曇	曇	—	N	疾

5	29.0	21.0	24.0	88	曇	曇	—	N	疾
6	30.0	21.5	24.0	92	曇	曇	—	N	軟
7	27.5	22.0	24.8	88	曇	曇	—		靜
8	30.5	19.5	23.5	90	晴	晴後曇	—	N	軟
9	24.5	19.5	23.2	94	曇	曇	0.2	N	軟
10	24.5	16.9	18.9	83	曇	曇	—		疾

要　　結

第13表　各液に依る誘致試驗成績一覽表

藥　　劑	誘殺數		試驗延日數	誘致瓶延總數
	柑橘小實蠅	雜　　蟲		
No. 1 第 1 號液	6	355	144日	207箇
No. 2 第 2 號液	1	218	144日	179箇
No. 3 クレンゼル	0	147	80日	80箇
No. 4 臺農殺蟲 No. 1	398	416	71日	928箇

No. 1 No. 2 及 No. 3 は柑橘小實蠅の誘致に關し殆ど見る可きもの無し。No. 4 に係る誘致最盛期は 9 月中に於けるレモン、椪柑、ザボンの最初に掲げたる 3 區に於ける誘致數にして其後漸次數を減じたり。今 9 月 1 日より11月10日に至る10週間分を掲ぐれば次の如し。

	實蠅誘致數	誘致瓶延數
第 1 週	110	42
〃 2 〃	51	63
〃 3 〃	31	63
〃 4 〃	21	63
〃 5 〃	17	63
〃 6 〃	29	42
〃 7 〃	13	63
〃 8 〃	11	63
〃 9 〃	6	63
〃 10 〃	6	42
70 日	295頭	567箇

尙試驗施行期中各液共に誘致したる雜蟲合計1,136頭を得たるが其內譯

クロバヘ、マダラバヘ、コバヘ、ハナバヘ、ヤガの1種、ノメイガの1種、ハマキガの1種、キスヂタイワンカノコガ、コシボソバチ、青蜂、ホソアシナガバチ、シワオホアリ、クロトゲアリ、アシナガキアリ、クサカゲラフ、キシモフリカメムシ、モモブトバツタ、タイワンツユムシ、カマドウマ、シロテンハナムグリ、ヒラタハナムグリ、ハムシの1種、の外蜘蛛類及蛙 2 頭にして內蠅類最も多數を占む。

（4） 臺中州農會試驗成績

要　　項

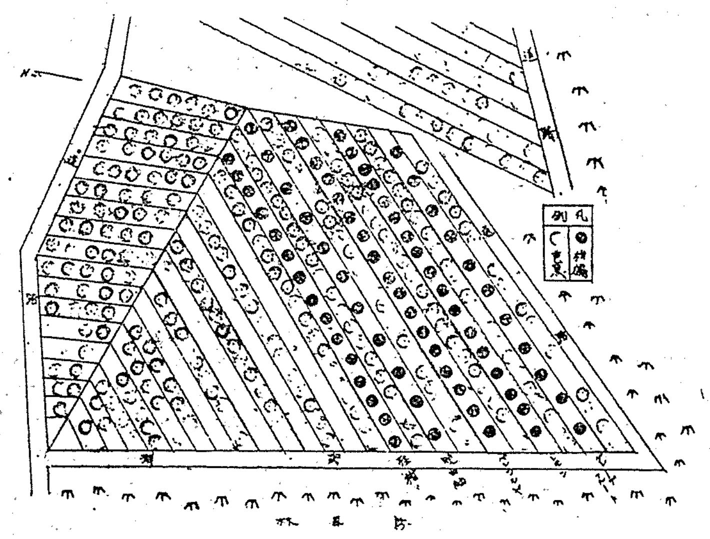
1　擔當責任者　臺中州技手　富名腰尙友氏

2　場所　臺中州大屯郡霧峰庄坑口、臺中州農會果樹指導園

3　圃場見取圖下の如く試驗地にはバレンシヤ10本、1 列に栽植しあり。

柑橘小實蠅誘殺驅除試驗地見取圖

備考　1. 2. 3. 4. の番號は供試藥No.4の配置箇所を示す



4　試驗施行期間は昭和14年10月 3 日より昭和15年 3 月31日に至る。

5　送附したる誘致劑は No. 1, No. 2, No. 3 (クレンゼル液)及 No. 4 (臺農殺蟲第 1 號液) の 4 種なり。

6　No. 1 及 No. 2 は10月 3 日より11月21日迄施行し、一時中止し再び15年

1月31日より3月31日迄施行せり。No. 4は11月22日に開始し翌年1月23日迄續行せり。

7 各液に依る誘致成績並に其期間の氣象表次の如し。

第14表 試藥 No. 1 及 No. 2 に依る誘致試驗成績一覽表

期間	試藥 No. 1				試藥 No. 2			
	誘殺數		場所	器數	誘殺數		場所	器數
	實蠅	雜蟲			實蠅	雜蟲		
10月3—9日	0	1	バレンシヤ園	1	0	1	バレンシヤ園	1
10月10—16日	0	0	〃	〃	0	1	〃	〃
10月17—23日	0	2	〃	〃	0	1	〃	〃
10月24—31日	0	1	〃	〃	0	3	〃	〃
11月1—7日	0	1	〃	〃	0	0	〃	〃
11月8—14日	0	2	〃	〃	0	3	〃	〃
11月15—21日	0	1	〃	〃	0	1	〃	〃
1月31日—2月6日	0	6	〃	2	0	11	〃	2
2月7—13日	1	3	〃	〃	0	6	〃	〃
2月14—20日	0	6	〃	〃	0	10	〃	〃
2月21—27日	0	13	〃	〃	0	14	〃	〃
2月28日—3月5日	1	7	〃	〃	0	9	〃	〃
3月6日—12日	1	7	〃	〃	0	5	〃	〃
3月13—19日	2	12	〃	〃	0	33	〃	〃
3月20—26日	0	20	〃	〃	0	90	〃	〃
3月27—31日	0	13	〃	〃	0	25	〃	〃
延 111 日	5頭	95頭		171箇	0	213頭		171箇

第15表 試藥 No. 3（クレンゼル液）に依る誘致試驗成績一覽表

期間	誘殺數		場所	器數
	實蠅	雜蟲		
1月17—23日	2	0	バレンシヤ園	2
1月24—30日	7	9	〃	4
13 日	9頭	9頭		42箇

第16表 試藥 No. 4（臺農殺蟲第1號）に依る誘致試驗成績一覽表

期間	誘殺數		場所	器數
	實蠅	雜蟲		
11月22—28日	40	126	バレンシヤ園	4
11月29日—12月5日	24	24	〃	〃
12月6—12日	15	7	〃	〃
12月13—19日	7	5	〃	〃
12月20—26日	6	10	〃	〃
12月27日—1月2日	3	12	〃	〃
1月3—9日	10	35	〃	〃
1月10—16日	12	15	〃	〃
1月17—23日	1	5	〃	2
63 日	118頭	239頭		243箇

第17表 氣象觀測表（自昭和14年10月3日 至昭和15年3月31日）

月日	氣温		濕度	天候	降雨量	蒸發量	風	
	最高	最低					風向	風速
10. 3	28.4	16.8	82	曇	—	3.8	北西	0.04
4	29.9	16.0	90	晴	—	2.6	北西	0.19
5	30.8	17.6	90	曇	—	3.6	北西	0.32
6	31.2	15.4	74	晴	—	2.0	北西	0.42
7	30.8	15.4	74	晴	—	4.2	北西	0.35
8	31.4	15.6	81	晴	—	4.6	北西	0.42
9	32.8	17.4	90	曇	—	3.7	北	0.24
10	25.4	15.6	90	曇	3.5	0.2	北	0.09
11	27.0	16.8	90	曇	3.5	0.7	北	0.04
12	29.8	16.8	82	晴	13.8	1.6	北西	0.27
13	30.4	15.2	82	晴	16.9	3.4	北東	0.13
14	30.8	16.9	74	晴	0.8	2.2	北東	0.18
15	30.6	14.4	74	晴	—	2.5	北西	0.42
16	29.8	15.4	82	晴	—	3.1	北	0.59
17	30.8	14.0	90	晴	—	3.5	北西	1.03
18	30.0	12.8	81	晴	—	3.4	北	0.41
19	29.8	13.4	73	晴	—	3.6	北西	0.31
20	30.0	13.8	73	晴	—	3.2	北西	0.33

	21	29.6	12.2	80	晴	—	3.4	北西	0.22
	22	29.8	12.6	81	晴	—	4.4	北西	0.26
	23	30.6	14.0	81	晴	—	3.8	北西	0.21
	24	29.8	14.2	73	晴	—	3.2	北西	0.28
	25	30.8	12.8	80	晴	—	4.0	北西	0.80
	26	28.2	13.6	80	晴	—	3.1	北西	0.46
	27	29.2	14.2	90	晴	—	3.0	北西	0.31
	28	28.2	11.8	80	晴	—	2.9	北西	0.33
	29	29.4	12.8	81	晴	—	3.6	北西	0.25
	30	31.8	15.0	81	曇	—	2.0	北西	0.19
	31	28.0	12.2	72	曇	0.3	3.2	北西	0.45
11.	1	28.4	10.8	71	晴	—	1.4	東	0.51
	2	28.2	11.2	80	晴	—	2.9	北西	0.25
	3	30.0	13.4	81	晴	—	3.2	北	0.22
	4	30.6	15.4	90	晴	—	3.4	北東	0.21
	5	31.2	14.8	90	曇	—	3.4	北西	0.22
	6	29.6	16.0	81	曇	—	2.5	北西	0.08
	7	29.6	17.0	90	雨	—	4.0	北西	0.08
	8	27.0	15.0	81	晴	1.0	4.5	南西	0.03
	9	30.2	16.4	81	晴	—	3.2	北西	0.15
	10	29.4	11.2	63	晴	—	4.0	西	0.84
	11	27.4	10.2	80	晴	—	4.0	北西	0.52
	12	28.6	10.6	72	晴	—	3.4	北西	0.52
	13	29.4	12.0	80	晴	—	3.9	北西	0.65
	14	28.4	10.8	72	晴	—	3.5	北	0.14
	15	29.0	10.2	59	晴	—	4.2	北西	0.22
	16	29.8	11.2	89	晴	—	1.4	北西	0.18
	17	29.4	12.8	89	晴	—	2.9	北西	0.32
	18	29.2	11.4	89	曇	—	3.2	南西	0.32
	19	29.2	13.0	90	曇	—	2.2	北東	0.12
	20	28.8	13.4	73	晴	—	1.6	北東	0.10
	21	30.6	13.2	90	晴	—	3.2	北西	0.31
	22	29.8	13.0	81	晴	—	3.7	北西	0.23
	23	32.4	15.4	82	晴	—	4.5	北西	0.23
	24	29.4	15.0	100	雨	1.0	1.4	西	0.23
	25	24.8	11.8	100	雨	14.0	0.2	北	0.18
	26	22.0	6.6	56	晴	0.1	1.0	北西	0.45
	27	16.2	4.4	75	曇	—	1.7	北西	0.54
	28	21.8	3.6	88	晴	—	1.6	西北	0.15

	29	25.6	7.6	88	曇	—	2.2	北西	0.14
	30	20.4	4.0	76	晴	—	1.6	北	0.41
12.	1	24.6	7.8	78	曇	—	2.8	北西	0.21
	2	23.4	9.8	89	晴	—	1.4	北	0.01
	3	23.4	7.2	69	晴	—	2.4	北西	0.42
	4	23.6	5.4	88	晴	—	2.7	北	0.58
	5	22.8	5.4	77	晴	—	2.4	北西	0.27
	6	24.6	6.8	78	晴	—	2.1	北西	0.11
	7	26.8	5.8	88	晴	—	2.4	北西	0.17
	8	27.2	8.4	79	晴	—	2.0	北	0.10
	9	27.2	7.0	79	晴	—	2.1	北東	0.11
	10	26.4	4.8	69	晴	—	2.6	東	0.16
	11	22.2	3.0	87	晴	—	2.2	北東	0.68
	12	23.8	4.8	88	晴	—	2.5	西北	0.18
	13	24.3	4.1	100	晴	—	2.5	北東	0.14
	14	23.0	3.6	88	晴	—	2.4	北東	0.50
	15	23.4	4.4	88	晴	—	2.3	北	0.31
	16	24.0	4.2	88	晴	—	2.5	北西	0.26
	17	25.6	5.4	88	晴	—	2.2	北東	0.17
	18	25.4	10.0	89	曇	—	2.2	北	0.38
	19	22.8	7.8	88	雨	0.6	2.5	北西	0.74
	20	19.2	2.8	88	晴	—	2.2	北東	0.11
	21	25.6	3.8	88	晴	—	2.8	北東	0.08
	22	24.8	7.6	89	晴	—	1.5	北	0.19
	23	21.6	8.4	100	曇	—	2.5	北西	0.11
	24	21.0	4.2	100	晴	—	1.0	北	0.58
	25	23.0	4.0	87	晴	—	2.4	北西	0.40
	26	22.8	3.8	100	晴	—	1.7	東北	0.43
	27	22.4	1.6	87	晴	—	2.5	北東	0.32
	28	22.4	0.4	87	晴	—	2.4	北西	0.26
	29	22.8	−0.2	87	晴	—	2.8	北東	0.33
	30	22.8	−0.6	86	晴	—	3.0	北西	0.43
	31	23.4	−0.2	86	晴	—	2.2	北西	0.21
1.	1	22.8	3.4	76	晴	—	2.4	北西	0.22
	2	23.0	4.0	76	曇	—	2.5	北西	0.33
	3	23.4	4.0	100	晴	—	3.5	北東	0.23
	4	23.6	4.2	100	晴	—	3.2	東北	0.25
	5	24.2	3.4	76	曇	—	2.4	北西	0.21
	6	25.4	7.8	46	晴	—	2.4	北東	0.35

7	26.0	2.2	88	晴	—	1.6	北東	0.35
8	26.4	2.0	87	晴	—	3.5	北西	0.17
9	24.8	3.6	76	晴	—	2.4	西北	0.17
10	25.0	4.0	78	晴	—	2.5	北東	0.171
11	25.4	4.4	88	晴	—	3.2	北西	0.27
12	24.6	8.2	89	曇	—	2.6	北西	0.29
13	23.0	8.8	79	晴	—	1.4	北西	0.14
14	25.6	4.2	100	晴	—	3.3	東北	0.44
15	25.0	7.6	88	晴	—	2.8	北東	0.25
16	22.6	8.4	89	晴	8.4	1.5	北西	0.21
17	20.6	3.4	88	晴	—	1.5	北西	0.66
18	21.8	4.4	87	晴	—	2.7	北	0.45
19	24.0	4.8	87	晴	—	2.8	北	0.40
20	24.2	4.0	87	曇	—	2.5	北西	0.29
21	22.2	5.2	100	曇	—	1.6	北	0.30
22	19.2	5.8	77	晴	—	1.4	北西	0.62
23	21.2	4.4	86	曇	—	4.0	北西	1.17
24	11.8	1.8	85	小雨	0.1	0.6	北西	0.82
25	12.0	−1.4	74	晴	—	0.6	北	0.23
26	18.8	2.0	86	雨	0.3	1.7	西北	0.51
27	14.6	0.8	74	晴	1.5	0.5	南西	0.08
28	20.6	5.0	87	小雨	—	2.9	北西	0.34
29	19.8	6.8	78	晴	1.1	—	北	0.21
30	23.4	9.2	78	雨	0.2	2.2	北西	0.62
31	19.0	7.8	100	曇	3.1	0.2	西	0.09
2. 1	24.0	8.8	88	晴	—	2.5	北	0.254
2	24.8	8.0	88	晴	—	2.4	北西	0.478
3	22.6	1.2	74	晴	0.2	4.2	北西	1.64
4	18.2	2.4	87	晴	—	1.6	北西	0.27
5	19.4	2.8	76	晴	—	0.8	北	0.43
6	28.6	7.2	88	曇	2.6	2.8	北	0.25
7	20.6	4.2	87	曇	—	2.7	北西	1.15
8	18.6	2.8	86	晴	—	1.7	北西	0.86
9	17.4	4.0	87	晴	—	2.2	北	0.60
10	22.3	3.4	87	晴	—	3.1	北	0.48
11	24.0	7.8	100	晴	—	3.0	北西	0.78
12	25.4	5.6	88	晴	—	3.2	北東	0.47
13	27.4	6.8	63	晴	—	6.2	南西	0.54
14	30.8	19.0	88	晴	—	4.6	東北	0.39

15	24.8	7.4	88	曇	5.5	3.2	北西	0.67
16	23.4	8.4	89	晴	1.2	3.9	東南	0.78
17	25.4	9.4	88	曇	—	3.6	北西	0.73
18	23.6	5.0	78	晴	—	2.7	西	0.81
19	24.8	7.8	100	曇	—	3.5	西	0.40
20	25.8	9.0	79	晴	—	3.6	北	0.38
21	25.6	8.2	88	晴	—	4.5	北	0.94
22	23.6	5.6	75	晴	—	3.7	北西	1.10
23	20.6	4.4	67	晴	—	3.2	北西	0.80
24	23.8	4.4	88	晴	—	4.1	北西	0.49
25	23.0	5.8	68	晴	—	2.7	北西	0.49
26	26.4	7.8	78	晴	—	4.5	北	0.67
27	25.8	7.4	100	晴	—	4.0	北西	0.49
28	24.8	9.2	79	晴	—	3.7	北	0.51
29	29.0	9.0	78	曇	0.1	4.7	北	0.905
3. 1	20.3	5.2	100	晴	—	1.0	西	0.29
2	21.2	3.8	76	晴	—	4.1	北西	1.07
3	24.8	6.8	88	曇	—	3.4	北	0.66
4	26.4	8.6	70	晴	—	4.0	北	0.73
5	28.8	9.2	63	晴	—	4.8	東	0.53
6	27.8	11.8	89	曇	—	4.3	北	0.58
7	27.1	11.0	89	曇	—	4.0	北西	0.74
8	27.8	10.6	100	曇	—	4.2	北西	0.81
9	25.8	10.4	80	曇	0.5	1.8	南東	0.34
10	24.2	8.4	89	曇	6.0	2.8	東	0.90
11	22.4	9.2	100	曇	9.5	1.0	北西	0.48
12	20.6	3.4	76	晴	—	2.3	北西	1.02
13	23.4	4.4	88	晴	—	4.1	南	0.69
14	22.2	4.8	79	晴	—	3.8	東南	0.57
15	26.4	9.2	89	晴	—	4.7	北	0.54
16	27.6	9.0	88	雨	21.0	3.8	北西	0.55
17	16.6	6.4	88	曇	48.0	—	北西	0.64
18	17.6	6.8	87	曇	0.3	—	北西	0.88
19	16.0	7.6	100	雨	8.5	—	東北	0.06
20	18.8	5.2	76	晴	11.0	2.3	北	0.58
21	19.8	5.4	100	曇	0.6	4.1	南西	1.17
22	15.0	4.6	87	曇	—	0.7	北西	0.26
23	18.8	7.0	88	曇	0.7	1.2	北	0.30
24	17.3	8.9	100	雨	21.8	0.3	北西	0.06

25	18.4	9.6	89	曇	4.7	—	西	0.20
26	24.0	8.0	100	曇	—	3.8	北西	0.59
27	24.2	8.2	88	晴	—	2.2	北西	0.38
28	23.4	8.4	79	晴	—	2.0	北西	0.50
29	24.8	10.4	89	晴	—	3.9	北	0.57
30	27.0	9.4	65	晴	36.0	8.0	南東	1.03
31	28.6	11.8	89	曇	33.5	12.3	北西	0.79

要　　結

第18表　各液に依る誘致試驗成績一覽表

藥　　劑	誘殺數		試驗延日數	誘致瓶延總數
	柑橘小實蠅	雜　蟲		
No.1 第 1 號 液	5頭	95頭	111日	171箇
No.2 第 2 號 液	0頭	321頭	111日	171箇
No.3 クレンゼル	9頭	9頭	13日	42箇
No.4 臺農殺蟲第1號	118頭	23頭	63日	243箇

No.4 液にて最も誘致數の多き期間は11月中なり。即ち14日間に66頭、1日平均5頭弱なり。同時に各期を通じ多數の雜蟲を誘致せしが其內譯は、ヲビキンバヘ、ハナバヘ、コバヘ、シヤウジヤウバヘ、クロバヘ、虻の1種、ハマダラカ、小蜂の1種、ホソアシナガバチ、ホソガの1種、コアカキリバ、メイガの1種、ハスモンヨタウ、ホタルガの1種、クサカゲラフ、ゴミムシの1種 (Colpodes), モモブトカミキリモドキ、キスヒの1種、ハムシの1種等にして、頭數に於て蠅類最も多數を占む。

(5) 臺中州立農事試驗場成績

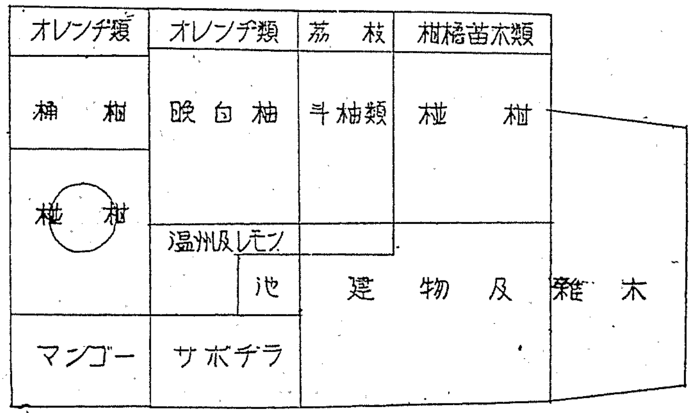
要　　項

1 擔當責任者　臺中州立農事試驗場　技手　中村純雄氏

2 場所　臺中州南投郡名間庄頂新厝223番地、臺中州立農事試驗場園藝指導所(海拔 235 m)

3 圃場見取圖下の如く實施區(○印)には椪柑60本栽植しあり、之は昭和9

年1月定植したるものなり。



4 施行期間は昭和14年7月1日より昭和15年3月31日に至る9箇月間。

5 送附したる誘致劑は No.1, No.2, No.3 (クレンゼル液)及 No.4 (臺農殺蟲第1號液) の4種にして、何れも其20倍稀釋液を使用せり。

6 試驗區に於ける椪柑收穫期は昭和14年12月20日なり。

7 3月1日以前は雌雄の區別を爲さず全部雄の部に記入せり。竝に他の誘致雜蟲の調査を爲さず。

8 No.1 及 No.2 液は殆んど效力無く、前者は2月25日及26日に各1頭、後者は7月23日、8月23日、2月25日に各1頭、計5頭の誘致數なり。又 No.3 (クレンゼル)は7月1日に1頭入りしのみ、之は9月20日を以て打ち切り9月21日より No.4 (臺農殺蟲第1號液)を使用せり。

9 No.4 液の誘致成績竝に其期間の氣象狀態は次表の如し。

第19表　試藥 No.4 に依る誘致試驗成績一覽及氣象觀測表

年月日	誘殺數			天候	氣溫			濕度
	♀	♂	計		最高	最低	平均	
14. 9.21	0	0	0	曇	32.0	21.0	29.5	94
22	0	1	1	晴	31.0	19.0	26.5	90
23	0	1	1	晴	32.0	19.0	28.5	90
24	0	0	0	晴	31.0	18.0	29.5	90
25	0	1	1	晴	31.0	19.0	29.0	90
26	0	0	0	晴	30.0	18.0	27.0	90

27	0	1	1	晴	31.0	29.0	30.0	85
28	0	0	0	晴	34.0	23.0	26.0	90
29	0	1	1	曇	32.0	21.0	25.0	89
30	0	0	0	雨	25.0	23.0	24.0	89
10. 1	0	0	0	雨	26.0	24.0	25.0	89
2	0	0	0	曇	29.0	22.0	28.0	84
3	0	1	1	曇	29.0	23.0	27.0	90
4	0	1	1	曇	30.0	21.0	28.0	90
5	0	0	0	晴	30.0	22.0	27.0	90
6	0	1	1	曇	31.0	21.0	29.0	90
7	0	1	1	晴	31.0	21.0	30.0	94
8	0	1	1	晴	31.0	20.0	28.0	94
9	0	1	1	曇	32.0	24.0	26.5	90
10	0	0	0	雨	27.0	22.0	24.0	89
11	0	2	2	雨	29.0	22.0	28.0	84
12	0	6	6	曇	29.0	22.0	27.5	90
13	0	5	5	雨	30.0	21.0	29.0	94
14	0	5	5	雨	31.0	21.0	29.0	90
15	0	9	9	曇	31.0	21.0	29.5	90
16	0	4	4	晴	30.0	21.0	28.0	90
17	0	1	1	晴	28.0	20.0	27.5	90
18	0	2	2	晴	29.0	19.0	26.0	89
19	0	1	1	晴	29.0	19.0	26.0	90
20	0	3	3	晴	29.0	21.0	26.0	89
21	0	1	1	晴	32.0	18.0	30.0	94
22	0	0	0	晴	30.0	19.0	28.0	89
23	0	0	0	晴	30.0	20.0	27.0	90
24	0	1	1	晴	28.0	20.0	24.0	89
25	0	0	0	晴	27.0	19.0	24.0	89
26	0	0	0	晴	27.0	18.0	25.0	89
27	0	0	0	晴	29.0	20.0	25.5	94
28	0	0	0	晴	26.0	21.0	25.0	94
29	0	1	1	晴	27.0	20.0	26.5	90
30	0	1	1	晴	26.0	20.0	25.5	94
31	0	0	0	晴	28.0	18.0	23.0	89
11. 1	0	0	0	晴	25.0	17.0	23.0	89
2	0	2	2	晴	29.0	19.0	28.0	90
3	0	1	1	晴	30.0	19.0	26.5	90
4	0	0	0	晴	29.0	21.0	26.0	89

5	0	0	0	曇	30.0	21.0	23.0	89
6	0	0	0	曇	26.0	22.0	25.0	89
7	0	0	0	晴	28.0	22.0	25.0	89
8	0	0	0	曇	27.0	20.0	26.0	89
9	0	0	0	曇	29.0	22.0	25.5	89
10	0	0	0	晴	26.0	19.0	21.0	94
11	0	0	0	晴	27.0	17.0	21.0	94
12	0	2	2	晴	29.0	17.0	23.6	89
13	0	0	0	晴	29.0	18.0	24.5	89
14	0	1	1	晴	25.0	18.0	26.0	89
15	0	1	1	晴	28.0	17.0	24.0	89
16	0	0	0	晴	27.0	17.0	26.0	89
17	0	0	0	晴	27.0	17.0	23.0	83
18	0	0	0	晴	29.0	17.0	24.0	83
19	0	0	0	晴	29.0	19.0	25.0	83
20	0	0	0	晴	30.0	19.0	26.0	83
21	0	0	0	晴	29.0	19.0	27.0	89
22	0	0	0	曇	30.0	19.0	27.0	90
23	0	0	0	雨	31.0	21.0	27.0	90
24	0	0	0	雨	28.0	21.0	20.0	94
25	0	0	0	曇	24.0	20.0	17.0	94
26	0	0	0	曇	20.0	14.0	17.0	93
27	0	0	0	晴	15.0	11.0	14.0	80
28	0	0	0	曇	21.0	10.0	15.0	88
29	0	0	0	晴	24.0	14.0	17.0	93
30	0	0	0	晴	19.0	10.0	16.0	87
12. 1	0	0	0	晴	24.0	14.0	17.0	81
2	0	0	0	晴	22.0	16.0	20.0	93
3	0	0	0	晴	27.0	15.0	23.0	93
4	0	0	0	晴	22.0	10.5	15.5	78
5	0	0	0	晴	21.0	12.0	18.0	88
6	0	0	0	晴	22.0	14.0	20.0	88
7	0	0	0	晴	25.0	13.0	20.0	88
8	0	0	0	晴	23.0	15.0	18.0	93
9	0	0	0	晴	24.0	13.0	20.0	88
10	0	0	0	晴	26.0	13.0	19.0	88
11	0	0	0	晴	20.0	10.0	15.0	87
12	0	0	0	晴	23.0	11.0	19.0	88
13	0	0	0	晴	22.0	10.0	16.0	93

14	0	0	0	晴	21.0	11.0	16.0	78
15	0	0	0	晴	23.0	10.0	16.5	82
16	0	0	0	晴	23.0	11.0	17.0	76
17	0	0	0	曇	23.0	12.0	17.5	88
18	0	0	0	曇	24.0	16.0	20.0	81
19	0	0	0	曇	22.0	14.0	18.0	76
20	0	0	0	曇	18.0	11.0	14.5	78
21	0	0	0	晴	23.0	12.0	17.5	80
22	0	0	0	曇	24.0	14.0	19.0	50
23	0	0	0	晴	24.0	14.0	19.0	76
24	0	0	0	晴	19.0	10.0	14.5	78
25	0	0	0	晴	20.0	10.0	15.0	75
26	0	0	0	晴	20.0	13.0	16.5	76
27	0	0	0	晴	21.0	10.0	15.5	68
28	0	0	0	晴	21.0	12.0	16.5	66
29	0	1	1	晴	22.0	12.0	17.0	58
30	0	0	0	晴	21.0	11.0	16.0	58
31	0	0	0	曇	21.0	9.0	15.0	56
15. 1. 1	0	0	0	晴	22.0	11.0	16.5	50
2	0	0	0	曇	23.0	11.0	17.0	68
3	0	0	0	晴	22.0	11.0	16.5	75
4	0	0	0	晴	22.0	11.0	16.5	68
5	0	0	0	曇	23.0	11.0	17.0	54
6	0	0	0	晴	25.0	10.0	17.5	62
7	0	2	2	晴	26.0	10.0	18.0	53
8	0	3	3	晴	25.0	10.0	17.5	53
9	0	0	0	晴	25.0	12.0	18.5	52
10	0	1	1	晴	25.0	12.0	18.5	68
11	0	0	0	曇	26.0	12.0	19.0	69
12	0	0	0	曇	24.0	11.0	17.5	78
13	0	2	2	曇	23.0	11.0	17.0	62
14	0	1	1	曇	25.0	12.0	18.5	71
15	0	1	1	曇	24.0	13.0	18.5	61
16	0	0	0	曇	24.0	13.0	18.5	88
17	0	2	2	晴	20.0	11.0	15.5	76
18	0	1	1	晴	22.0	12.0	17.0	76
19	0	0	0	曇	20.0	10.0	15.0	76
20	0	0	0	曇	21.0	11.0	16.0	68
21	0	0	0	曇	21.0	12.0	16.5	88

22	0	0	0	曇	17.0	12.0	14.5	87
23	0	0	0	曇	20.0	10.0	15.0	85
24	0	0	0	曇	10.0	7.0	8.5	91
25	0	0	0	曇	9.0	5.0	7.0	85
26	0	0	0	曇	10.0	7.0	8.5	74
27	0	0	0	曇	10.0	7.0	8.5	65
28	0	1	1	曇	20.0	13.0	16.5	83
29	0	1	1	曇	20.0	14.0	17.0	78
30	0	0	0	曇	13.0	16.0	19.5	88
31	0	1	1	曇	19.0	16.0	17.5	88
2. 1	0	2	2	曇	24.0	14.0	19.0	76
2	0	1	1	曇	25.0	17.0	21.0	81
3	0	1	1	曇	22.0	13.0	17.5	78
4	0	0	0	晴	17.0	9.0	13.0	74
5	0	2	2	晴	22.0	11.0	16.5	76
6	0	1	1	曇	26.0	15.0	20.5	76
7	0	0	0	曇	15.0	11.0	13.0	79
8	0	0	0	晴	14.0	10.0	12.0	73
9	0	0	0	晴	17.0	11,0	14.0	80
10	0	0	0	晴	21.0	11.0	16.0	61
11	0	3	3	晴	24.0	12.0	18.0	76
12	0	16	16	晴	25.0	14.5	18.5	55
13	0	30	30	晴	24.0	14.0	19.0	48
14	0	5	5	晴	29.0	16.0	22.5	73
15	0	5	5	晴	24.0	15.0	19.5	72
16	0	5	5	曇	24.0	15.0	19.5	71
17	0	0	0	晴	22.0	16.0	19.0	81
18	0	6	6	晴	23.0	12.0	17.5	68
19	0	8	8	晴	25.0	16.0	20.5	72
20	0	4	4	曇	26.0	17.0	21.5	80
21	0	1	1	曇	26.0	15.0	20.5	81
22	0	0	0	晴	25.0	12.0	18.5	79
23	0	0	0	晴	21.0	11.0	16.0	66
24	0	6	6	晴	22.0	13.0	17.5	63
25	0	8	8	晴	24.0	15.0	19.5	60
26	0	3	3	晴	27.0	15.0	21.0	72
27	0	3	3	晴	26.0	14.0	20.0	64
28	0	20	20	曇	24.0	17.0	20.5	60
29	0	6	6	曇	24.0	16.0	20.0	77

3. 1	0	4	4	晴	21.0	13.0	17.0	70
2	0	2	2	曇	24.0	11.0	17.5	68
3	0	7	7	晴	24.0	13.0	17.5	76
4	0	20	20	晴	26.0	17.0	21.5	53
5	0	18	18	晴	28.0	17.0	22.5	53
6	1	34	35	晴	28.0	20.0	24.0	79
7	1	23	24	曇	28.0	18.0	23.0	89
8	0	0	0	曇	27.0	17.0	22.0	88
9	0	4	4	雨	27.0	18.0	22.5	69
10	0	3	3	雨	27.0	16.0	21.5	93
11	0	0	0	晴	22.0	17.0	19.5	77
12	2	13	15	晴	21.0	11.0	16.5	57
13	0	0	0	晴	23.0	11.0	17.0	77
14	1	19	20	晴	26.0	12.0	19.0	52
15	0	5	5	雨	28.0	12.0	20.0	38
16	0	0	0	雨	29.0	16.0	22.5	93
17	0	0	0	雨	17.0	14.0	15.5	86
18	0	2	2	雨	18.0	13.0	15.5	92
19	0	2	2	雨	17.0	15.0	16.0	77
20	0	2	2	曇	19.0	13.0	16.0	87
21	0	0	0	曇	20.0	13.0	16.5	92
22	0	0	0	曇	16.0	12.0	14.0	92
23	0	0	0	雨	21.0	14.0	15.0	87
24	0	0	0	雨	17.0	16.0	17.0	93
25	0	5	5	曇	19.0	17.0	18.0	93
26	0	3	3	曇	24.0	15.0	18.0	88
27	0	2	2	晴	24.0	16.0	19.0	82
28	0	0	0	晴	22.0	15.0	16.5	74
29	0	8	8	曇	25.0	18.0	24.0	69
30	3	18	21	曇	27.0	18.0	25.0	68
31	0	15	15	曇	29.0	19.0	24.0	88
延193日	8頭	422頭	430頭					

要　　結

No. 4 液に依る誘致結果は延日數193日、誘致瓶使用數は同數、1瓶の誘致數1日平均2.23頭に當る。誘致數最も多きは2月11日より3月31日に至る期間約50日、誘致總數407頭にして1日平均8頭强なり。尙誘致頭數最高記錄は

3月6日の35頭、次で2月13日の30頭なりき。

第20表　各液に依る誘致試驗成績一覽表

藥　　劑	誘殺數 柑橘小實蠅	誘殺數 雜蟲	試驗延日數	誘致瓶延總數
No. 1　第1號液	2	(雜蟲の調査をなさず)	275日	275箇
No. 2　第2號液	3		275日	275箇
No. 3　クレンゼル	1		82日	82箇
No. 4　臺農殺蟲 No. 1	430		193日	193箇

（6） 臺南州立農事試驗場成績

要　　項

1　擔當責任者　臺南州立農事試驗場　大島鹿三郎

2　場所　臺南市州立農事試驗場の檬果圃場に於て施行せるも、尚グレープフルーツ、チヤイニーズキユーカンバー、アボガドペーヤ等にても之を施行せり。

3　送附したる誘致劑は　No.1, No.2, No.3（クレンゼル液）、No.4（臺農殺蟲第1號）及 No.5（臺農殺蟲第2號）なり。

4　試驗は昭和14年6月5日に開始し、試藥は最初 No.1, No.2, 及 No.3 の3種のみ使用し各液に對し誘致瓶1箇宛使用せり。之は檬果の地上約1米の枝に懸垂し、毎日調査の節順次位置を交換せり。以上は9月末日を以て試驗を中止したるも其間の成績下の如し。

第21表　試藥 No. 1 及 No. 2 に依る誘致試驗成績一覽表

月日		實蠅誘致數 雄	實蠅誘致數 雌	他の誘致雜蟲
6月中	No. 1	4	2	他の蠅類5、蛾類4
	No. 2	1	1	瓜實蠅♀1、クサカゲラフ2、コアカキリバ12
	No. 3	10	2	瓜實蠅♂1、♀1、他の蠅類6、コアカキリバ7
7月中（27日迄）	No. 1	9	5	他の蠅類14、コアカキリバ4
	No. 2	2	5	瓜實蠅5、他の蠅類5、コアカキリバ4
	No. 3	8	7	他の蠅類3、蛾類2

8月は6日より開始し檬果は果實採集後なるを以てアボガドペーヤの圃場にて中央の1樹に設置せり。位置の交換は前記の通り No. 1 及 No. 2 は25倍稀釋液使用、No. 3 は20倍稀釋液を使用せり。其結果 No. 1 に猩々蠅1及オピウス蜂1入りしのみ。

9月中 No.1 は9日迄續行せしが誘殺蟲無し。No.2 は10日迄25倍液に虻1頭入り11日より20日迄20倍液にせしが誘致昆蟲無し。21日より30日迄15倍液にせしが、蠅類1、虻類5入りしのみ、No.3 は8月30日を以て中止8月31日より No.4 を試驗せり。

No.4 に關しては昭和14年8月31日より昭和15年3月31日迄各種試驗を續行し、其間9月及10月上旬並に12月中 No.5 に就ても試驗を施行せり。誘致瓶は各1箇宛、檬果園に設置せり。其間の成績並に氣象表は次の如し。

第22表　試藥 No. 4 に依る誘致試驗成績一覽表

月日	5倍稀釋 柑橘小實蠅 ♀	5倍稀釋 柑橘小實蠅 ♂	5倍稀釋 雜蟲	10倍稀釋 柑橘小實蠅 ♀	10倍稀釋 柑橘小實蠅 ♂	10倍稀釋 雜蟲	15倍稀釋 柑橘小實蠅 ♀	15倍稀釋 柑橘小實蠅 ♂	15倍稀釋 雜蟲	20倍稀釋 柑橘小實蠅 ♀	20倍稀釋 柑橘小實蠅 ♂	20倍稀釋 雜蟲
8. 31		—			—			—		0	44	
9. 1		—			—			—		0	93	
〃 2		—			—			—		0	84	
〃 3		—			—			—		0	104	
〃 4		—			—			—		0	62	
〃 5		—			—			—		0	73	
〃 6		—			—			—		0	82	
〃 7		—			—			—		0	47	
〃 8		—			—			—		0	39	
〃 9		—			—			—		0	54	
〃 10		—			—			—		0	31	
〃 11		—			—			—		0	23	
〃 12		—			—			—		0	29	
〃 13		—			—			—		0	28	
〃 14		—			—			—		0	24	
〃 15		—			—			—		0	29	
〃 16		—			—			—		0	41	
〃 17		—			—			—		0	21	
〃 18		—			—			—		0	21	

〃 19	—		—			—		0	24	
〃 20	—		—			—		0	14	
〃 21	—		—		0	14			—	
〃 22	—		—		0	35			—	
〃 23	—		—		0	19			—	
〃 24	—		—		0	12			—	
〃 25	—		—		0	19			—	
〃 26	—		—		0	12			—	
〃 27	—		—		0	14			—	
〃 28	—		—		0	28			—	
〃 29	—		—		0	25			—	
〃 30	—		—		0	12			—	
10. 1	—		—		0	6			—	
〃 2	—		—		0	15			—	
〃 3	—	0	30		0	21			—	
〃 4	—	0	28		0	60			—	
〃 5	—	0	24		0	15			—	
〃 6	—	0	8		0	19			—	
〃 7	—	0	14		0	16			—	
〃 8	—	0	14		0	14			—	
〃 9	—	0	18		0	32			—	
〃 10	—	0	17		0	14			—	
〃 11	—	0	3	1	0	12			—	
〃 12	—	0	22	1	0	19	2		—	
〃 13	—	0	14		0	15			—	
〃 14	—	0	6		0	8			—	
〃 15	—	0	7		0	3			—	
〃 16	—	0	4	1	0	6			—	
〃 17	—	0	3		0	3			—	
〃 18	—		—			—			—	
〃 19	—		—			—			—	
〃 20	—		—			—			—	
〃 21	—		—			—			—	
〃 22	—	0	25		0	29			—	
〃 23	—	0	0		0	1			—	
〃 24	—	0	1		0	2			—	
〃 25	—	0	3		0	3			—	
〃 26	—	0	1		0	1			—	
〃 27	—	0	1		0	2			—	

〃 28	—	0	0		0	1	2		—	
〃 29	—	0	0		0	1			—	
〃 30	—	0	3		0	8	1		—	
〃 31	—	0	0		0	1			—	
11. 1	—	0	0		0	1		0	1	
〃 2	—	0	0			—		0	1	
〃 3	—	0	0		0	6		0	6	
〃 4	—	0	8		0	9		0	12	
〃 5	—	0	5		0	5		0	25	
〃 6	—	0	0		0	2		0	6	
〃 7	—	0	3		0	4		0	0	
〃 8	—	0	5		0	5		0	7	
〃 9	—	0	0		0	2		0	2	
〃 10	—	0	0			—		0	0	
〃 11	—	0	0		0	2		0	1	
〃 12	—	0	0		0	2		0	0	
〃 13	—	0	0		0	2		0	0	
〃 14	—	0	0		0	1		0	3	
〃 15	—	0	0		0	2		0	3	
〃 16	—	0	2		0	2		0	1	
〃 17	—	0	2		0	3		0	0	
〃 18	—	0	2		0	3		0	0	
〃 19	—	0	0		0	3		0	1	
〃 20	—	0	3		0	0		0	0	
〃 21	—	0	3		0	3		0	2	
〃 22	—	0	0		0	1		0	0	
〃 23	—	0	1		0	3		0	3	1
〃 24	—	0	0		0	1		0	2	
〃 25	—	0	2		0	2		0	1	
〃 26	—	0	0		0	1	1	0	0	
〃 27	—	0	0		0	0		0	1	
〃 28	—	0	0		0	1	1	0	0	
〃 29	—	0	0		0	0		0	0	
〃 30	—	0	0		0	0		0	0	
12. 1	—	0	0		0	0		0	0	
〃 2	—	0	0		0	3		0	0	
〃 3	—	0	0		0	0		0	0	1
〃 4	—	0	0		0	2		0	0	
〃 5	—	0	0		0	0		0	0	

〃 6	—		0	0	0	0		0	0
〃 7	—		0	0	0	2		0	0
〃 8	—		—		0	4		—	
〃 9	—		—		0	1		—	
〃 10	—		—		0	3		—	
〃 11	—		—		0	0		—	
〃 12	—		—		0	1		—	
〃 13	—		—		0	0		—	
〃 14	—		—		0	0		—	
〃 15	—		—		0	1	1	—	
〃 16	—		—		0	1		—	
〃 17	—		—		0	0		—	
〃 18	—		—		0	0		—	
〃 19	—		—		0	1		—	
〃 20	—		—		0	0		—	
〃 21	—		—		0	0		—	
〃 22	—		—		0	0		—	
〃 23	—		—		0	0		—	
〃 24	—		—		0	0		—	
〃 25	—		—		0	1		—	
〃 26	—		—		0	0		—	
〃 27	—		—		0	1		—	
〃 28	—		—		0	0		—	
〃 29	—		—		0	0		—	
〃 30	—		—		0	0		—	
〃 31	—		—		0	1		—	
1. 1	—		—		—			—	
〃 2	—		—		—			—	
〃 3	—		—		—			—	
〃 4	—		—		—			—	
〃 5	—		—		—			—	
〃 6	—		—		—			—	
〃 7	—		—		—			—	
〃 8	—		—		—			—	
〃 9	0	2	0	0	0	1		0	0
〃 10	0	1	0	1	0	0		0	0
〃 11	0	4	0	3	0	0		0	1
〃 12	0	0	0	1	0	0		0	0
〃 13	0	1	0	2	0	0		0	0

〃 14	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 15	0	1		0	0		0	3		0	0	
〃 16	0	0		0	0		0	1		0	0	
〃 17	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 18	0	0		0	1		0	0		0	0	
〃 19	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 20	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 21	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 22	0	0		0	0		0	0	1	0	0	
〃 23	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 24	0	0		0	0		0	0	1	0	0	
〃 25	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 26	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 27	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 28	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 29	0	0	1	0	0		0	0		0	0	
〃 30	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 31	0	0		0	0		0	0		0	0	
2. 1	0	0		0	0		0	1		0	0	
〃 2	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 3	0	2		0	0		0	1		0	1	
〃 4	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 5	0	0		0	0		0	0		0	0	1
〃 6	0	1	1	0	0		0	0		0	0	
〃 7	0	1	1	0	1	1	0	2		0	0	
〃 8	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 9	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 10	0	0		0	0		0	0	1	1	1	
〃 11	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 12	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 13	0	6		0	5		0	0		0	0	
〃 14	0	6		1	2		0	8		1	4	
〃 15	0	0		0	0	1	0	0		0	1	
〃 16	0	0		0	1		0	2		0	1	
〃 17	0	0		0	0		0	4		0	1	
〃 18	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 19	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 20	0	2		0	1		0	1		1	0	
〃 21	1	11		0	4		0	9		0	3	

〃 22	0	2	1	0	0		0	0		0	0	
〃 23	0	0		0	2		0	0		0	0	
〃 24	1	0	2	0	3		0	1		1	2	1
〃 25	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 26	0	4	1	0	6		0	11		0	2	
〃 27	0	5		0	3		1	14	3	0	3	1
〃 28	1	2		0	1		0	2		0	0	
〃 29	0	0		0	0		0	0		0	0	
3. 1	0	6		0	6	1	0	3		0	3	
〃 2	0	2		0	6		0	10		0	0	
〃 3	0	2		0	1		0	3		0	0	
〃 4	0	0		0	2		0	7		0	2	
〃 5	0	2		0	3	1	0	14		0	0	
〃 6	0	3		0	3		0	4		0	5	
〃 7	0	10		0	7		0	11		0	5	
〃 8	0	6		0	8		0	17		0	3	
〃 9	1	15		0	14		0	22	1	0	17	
〃 10	1	7		0	8		0	27	2	0	6	
〃 11	0	6		0	1		0	9	2	0	7	
〃 12	0	0		0	2	1	0	0	2	0	0	
〃 13	0	2	1	0	1		0	1		0	0	
〃 14	0	3		0	2		0	1	1	0	1	1
〃 15	0	5		0	5		0	4		0	4	
〃 16	0	7		0	8		0	10		0	4	
〃 17	0	1		0	2		0	1		0	2	
〃 18	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 19	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 20	0	1		0	1		0	2		0	0	
〃 21	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 22	0	0		0	0		0	0		0	0	
〃 23	0	0	1	0	0		0	1		0	2	
〃 24	0	1		0	0		0	0		0	0	
〃 25	0	0		0	0		0	4		0	0	
〃 26	0	0		0	2		0	2		0	0	
〃 27	0	0		0	3		0	5		0	3	
〃 28	0	2		0	3		0	2		0	1	
〃 29	0	0		0	1		0	2		0	0	
〃 30	0	1		0	4		0	6		0	0	
〃 31	0	0		0	4		0	6	1	0	0	
計	5頭	133頭	9頭	1頭	416頭	8頭	1頭	840頭	20頭	4頭	1,130頭	6頭
延日數	83日			145日			179日			741日		

第23表　試藥 No. 5（臺農殺蟲第2號）に依る誘致試驗成績一覽表

月 日	誘殺數			場所	器數
	柑橘小實蠅		雜蟲		
	♀	♂			
9. 12	〃	1		檬果園	1箇
13	〃	3		〃 (20倍稀釋液使用)	〃
14	〃	7		〃	〃
15	〃	0		〃	〃
16	〃	4		〃	〃
17	〃	2		〃	〃
18	〃	4		〃	〃
19	〃	2		〃	〃
20	〃	0		〃	〃
21	〃	0		(本日より15倍稀釋液使用)	〃
22	〃	0		〃	〃
23	〃	3		〃	〃
24	〃	2		〃	〃
25	〃	2		〃	〃
26	〃	6		〃	〃
27	〃	4		〃	〃
28	〃	2		〃	〃
29	〃	3		〃	〃
30	〃	1	寄生蜂 1	〃	〃
10. 1	〃	1		〃	〃
2	〃	3	コアカキリバ 1	〃	〃
3	〃	2		〃	〃
4	〃	6		〃	〃
5	〃	3		〃	〃
6	〃	4		〃	〃
7	〃	3	コアカキリバ 1	〃	〃
8	〃	0		〃	〃
9	〃	4		〃	〃
10	〃	0		〃	〃
11	〃	4	イヘバヘ 2	〃	〃
12	〃	2		〃	〃
13	〃	0		〃	〃
14	〃	1		〃	〃

15	〃	1		〃	〃
延 34 日		80頭	5頭		34箇

（備考） 12月8日より5倍及10倍稀釋液夫々1箇宛試み5倍液は12月14日にて中止し10倍液は12月31日迄續行したるに後者に蠅1頭と12月18日にアカホシカメムシ3頭を誘致す。

第24表　氣象觀測表　（自昭和14年8月31日／至昭和15年3月31日）

月	日	氣温			濕度	天候		降雨量	蒸發量	風	
		最高	最低	平均		午前	午後			風向	風速
8.	31	32.2	25.0	29.4	64	晴	晴	—	4.0	南	弱
9.	1	30.8	26.5	28.8	90	雨	晴	7.0	4.5	南東	弱
	2	28.5	25.0	26.6	95	雨	雨	17.4	5.4	南東	弱
	3	27.8	25.5	26.9	90	雨	曇	1.2	2.2	南東	弱
	4	30.6	26.3	29.1	77	晴	晴	—	6.0	南東	弱
	5	32.3	25.6	29.9	65	晴	晴	—	5.1	南西	弱
	6	31.0	26.0	29.3	72	晴	晴	—	6.1	南東	弱
	7	31.6	26.3	29.8	95	晴	晴	—	5.0	南東	弱
	8	31.5	26.0	29.6	69	晴	晴	—	2.0	南東	弱
	9	27.2	26.0	26.6	90	雨	雨	6.8	2.0	南東	弱
	10	30.0	27.0	28.0	76	晴	晴夜雨	26.7	5.0	南東	弱
	11	30.3	29.5	29.9	76	晴	晴	—	5.5	南西	弱
	12	31.7	27.5	31.3	64	晴	晴	—	6.1	南西	弱
	13	31.4	26.2	29.6	69	晴	晴	—	6.5	南西	弱
	14	31.0	24.5	28.7	69	晴	晴夕立	2.0	6.5	北西	弱
	15	31.0	27.4	29.5	65	晴	晴	—	5.5	北西	弱
	16	31.4	26.8	29.7	69	晴	晴	—	5.5	北東	弱
	17	32.0	26.9	29.9	61	晴	晴	—	6.0	南東	弱
	18	30.7	27.5	29.6	69	晴	晴	—	6.0	南西	弱
	19	32.7	26.8	30.2	69	晴	晴	—	5.3	南西	弱
	20	32.0	25.2	29.3	72	晴	晴	—	5.5	南西	弱
	21	31.2	25.0	29.9	57	晴	晴	—	5.7	南東	弱
	22	30.5	20.6	26.7	64	晴	晴	—	5.9	南東	弱
	23	30.7	21.5	26.9	64	晴	晴	—	6.0	南西	弱
	24	31.0	21.5	27.0	64	晴	晴	—	5.8	南西	弱
	25	31.5	22.2	27.7	64	晴	晴	—	5.8	西	弱

	26	31.0	24.3	28.5	69	曇	曇	—	4.7	西	弱
	27	32.0	24.6	29.2	69	晴	晴	—	5.7	南東	弱
	28	32.6	24.8	28.9	85	晴	曇	6.8	5.0	北西	弱
	29	26.5	23.9	25.3	95	雨	雨	8.0	4.7	北西	弱
	30	25.1	22.1	23.7	95	雨	雨	10.1	4.9	北西	弱
10.	1	27.0	23.2	25.2	89	雨	雨	4.0	5.3	北西	弱
	2	31.0	23.5	28.0	68	晴	晴	—	5.5	北	弱
	3	31.6	24.0	28.4	72	晴	晴	—	5.8	北	弱
	4	31.3	24.2	28.5	69	晴	晴	—	4.2	北	弱
	5	31.5	24.0	28.6	76	曇	晴	0.2	4.2	北東	弱
	6	31.0	24.0	28.5	69	晴	晴	—	5.3	北西	弱
	7	32.8	24.2	28.8	72	晴	晴	—	4.6	北西	弱
	8	38.0	24.0	28.0	78	晴	曇	0.5	3.0	北西	弱
	9	26.0	24.9	25.5	94	雨	雨	32.0	2.0	北西	弱
	10	27.0	24.8	26.1	89	雨	雨	24.5	2.0	北	强
	11	29.6	24.9	26.6	94	雨	晴	7.0	4.2	西	稍强
	12	30.0	25.0	27.5	85	晴	晴	—	4.3	南東	弱
	13	30.5	25.0	28.2	80	曇	晴	—	4.5	南東	弱
	14	31.2	26.0	29.1	80	晴	晴	—	4.5	北西	弱
	15	30.0	25.0	27.9	76	晴	晴	—	4.6	北西	弱
	16	30.8	25.0	28.5	76	晴	晴	—	5.0	北西	弱
	17	30.9	24.0	27.9	68	晴	晴	—	4.8	北西	弱
	18	29.0	21.0	26.0	68	晴	晴	—	4.7	北西	弱
	19	30.0	22.0	26.9	64	晴	晴	—	4.7	北西	弱
	20	30.0	22.7	27.1	64	晴	晴	—	4.4	北	弱
	21	30.0	21.0	26.3	64	晴	晴	—	4.7	北	弱
	22	29.5	20.8	26.1	72	晴	晴	—	4.7	北東	弱
	23	30.8	23.1	27.3	64	晴	晴	—	4.7	北	弱
	24	29.5	23.0	26.7	72	晴	晴	—	4.7	北	弱
	25	30.1	21.5	26.4	64	晴	晴	—	4.7	北	弱
	26	30.0	20.5	25.5	80	晴	晴	—	4.7	北	弱
	27	30.0	22.3	26.6	71	晴	晴	—	4.6	北	弱
	28	27.0	29.0	26.0	71	晴	晴	—	4.5	北	弱
	29	29.0	20.1	25.5	68	晴	晴	—	4.6	北	弱
	30	29.5	20.5	25.8	71	曇	曇	—	4.6	北	弱
	31	28.0	20.5	26.5	75	晴	晴	—	4.5	北	弱
11.	1	29.5	18.0	24.3	67	晴	晴	—	4.3	北	弱
	2	29.8	20.0	25.6	64	晴	晴	—	4.0	北西	弱
	3	30.0	20.6	25.9	84	晴	晴	—	4.5	北	弱

	4	30.5	23.8	27.1	84	曇	晴	—	4.0	北	弱
	5	30.0	21.0	25.8	75	晴	晴	—	3.8	北	弱
	6	29.0	23.8	26.4	80	曇	晴	—	2.8	北	弱
	7	28.0	25.0	26.9	75	曇	曇	2.0	2.5	北	弱
	8	29.3	23.0	26.4	72	晴	曇	—	3.9	北	弱
	9	28.0	22.5	25.7	76	曇	晴	—	3.2	北	弱
	10	28.0	20.0	24.2	71	晴	晴	—	4.0	北	弱
	11	29.5	19.0	24.3	71	晴	晴	—	4.3	北	弱
	12	28.5	19.5	24.5	71	晴	晴	—	4.5	北	弱
	13	28,5	18.6	24.1	67	晴	晴	—	5.0	北	弱
	14	28.5	22.5	25.8	67	晴	晴	—	4.5	北西	弱
	15	28.3	19.0	24.3	67	晴	晴	—	4.5	北	弱
	16	28.3	19.0	24.3	67	晴	晴	—	4.3	北	弱
	17	27.5	19.5	25.3	64	晴	晴	—	4.3	北西	弱
	18	30.5	20.0	27.7	71	晴	晴	—	4.0	北	弱
	19	31.0	21.0	26.2	63	曇	晴	—	4.5	北	弱
	20	31.0	21.5	26.7	64	晴	晴	—	4.3	北	弱
	21	29.5	22.5	26.7	79	曇	晴	—	4.0	北	弱
	22	31.8	22.0	27.6	64	晴	晴	—	4.5	北	弱
	23	30.5	23.5	27.7	61	晴	晴	—	3.9	北	弱
	24	29.0	23.0	25.3	89	曇	晴	0.7	3.6	北	弱
	25	25.0	18.5	21.5	88	曇	曇	—	3.5	北	弱
	26	18.0	13.0	15.7	79	晴	晴	—	3.3	北	弱
	27	21.8	10.5	16.3	74	晴	晴	—	3.5	北	弱
	28	24.8	12.5	19.6	64	晴	晴	—	4.0	北	弱
	29	24.0	15.5	20.2	67	晴	晴	—	4.5	北	弱
	30	24.0	14.8	19.4	64	晴	晴	—	4.0	北西	弱
12.	1	26.5	15.6	21.7	71	晴	晴	—	4.0	北	弱
	2	26.0	17.0	22.0	74	晴	晴	—	3.5	北	弱
	3	24.0	17.0	20.3	65	晴	晴	—	4.0	北	弱
	4	24.5	15.0	19.7	68	晴	晴	—	4.0	北	弱
	5	23.5	15.0	20.0	83	晴	晴	—	3.5	北西	弱
	6	25.5	15.5	21.0	79	晴	晴	—	3.5	北	弱
	7	26.1	15.5	21.5	74	晴	晴	—	3.5	北	弱
	8	25.5	17.5	21.5	73	晴	晴	—	3.5	北	弱
	9	27.0	15.5	21.7	65	晴	晴	—	4.0	北	弱
	10	24.5	16.5	21.0	64	晴	晴	—	4.0	北	弱
	11	23.5	12.5	18.2	68	晴	晴	—	3.7	北西	弱
	12	23.5	13.0	18.5	68	晴	晴	—	4.0	北	弱

	13	23.5	16.5	20.0	68	晴	晴	—	3.5	北	弱
	14	24.0	13.0	18.8	73	晴	晴	—	3.7	北	弱
	15	24.5	12.5	19.0	60	晴	晴	—	3.5	北	弱
	16	25.0	13.0	19.2	75	晴	晴	—	3.5	北	弱
	17	25.5	15.5	20.3	64	晴	晴	—	4.0	北	弱
	18	22.5	17.5	20.0	68	曇	晴	—	3.7	北	弱
	19	20.8	15.5	18.1	72	曇	曇	—	3.0	北	弱
	20	23.0	12.5	17.8	68	晴	晴	—	3.7	北	弱
	21	25.5	13.0	19.5	69	晴	晴	—	4.0	北	弱
	22	22.5	18.5	20.3	83	曇	曇	—	3.0	北	弱
	23	24.5	14.0	20.0	68	晴	晴	—	4.0	北	弱
	24	23.0	13.0	18.8	64	晴	晴	—	4.0	北	弱
	25	23.5	11.0	17.8	68	晴	晴	—	4.0	北	弱
	26	24.0	9.5	17.7	67	晴	晴	—	3.5	北	弱
	27	23.5	10.0	17.7	63	晴	晴	—	4.0	北	弱
	28	24.0	9.5	17.5	63	晴	晴	—	4.0	北	弱
	29	24.0	9.0	17.7	63	晴	晴	—	4.0	北	弱
	30	23.5	8.5	17.2	63	晴	晴	—	4.0	北	弱
	31	23.5	9.5	17.7	63	晴	晴	—	3.6	北	弱
15. 1.	1	24.5	13.5	18.8	63	曇	晴	—	3.5	北	弱
	2	24.0	13.5	19.0	73	曇	曇	—	4.0	北	弱
	3	24.5	14.0	19.7	73	曇	晴	—	4.0	北	弱
	4	25.5	12.0	19.5	68	晴	晴	—	4.5	北	弱
	5	27.0	14.0	21.0	53	晴	晴	—	4.5	北	弱
	6	22.5	12.5	18.5	55	晴	晴	—	4.2	北	弱
	7	26.5	10.0	19.5	57	晴	晴	—	4.0	北	弱
	8	25.5	9.5	18.5	66	晴	晴	—	3.5	北	弱
	9	26.5	13.5	20.3	61	晴	晴	—	4.0	北	弱
	10	26.0	15.0	20.6	68	晴	晴	—	4.5	北	弱
	11	25.5	11.5	19.6	65	晴	晴	—	3.5	北	弱
	12	26.5	17.5	21.6	78	曇	曇	—	3.2	北	弱
	13	26.5	17.5	22.8	73	晴	晴	—	3.8	北	弱
	14	26.0	12.5	20.2	69	晴	晴	—	4.0	北	弱
	15	23.5	15.0	19.5	78	曇	曇	—	4.0	北	弱
	16	24.5	17.0	21.0	76	晴	晴	—	3.7	北西	弱
	17	23.5	12.5	18.3	73	晴	晴	—	3.5	北西	弱
	18	24.5	11.0	18.2	73	晴	晴	—	4.5	北西	弱
	19	23.5	11.0	17.5	77	晴	晴	—	4.0	北西	弱
	20	24.5	13.0	18.8	73	曇	曇	—	3.5	北西	弱

	21	21.0	15.5	18.8	73	晴	晴	—	3.5	北西	弱
	22	24.0	14.0	19.0	73	晴	晴	—	4.0	北西	弱
	23	16.5	10.0	13.0	80	曇	曇	—	3.0	北西	弱
	24	16.5	9.0	13.0	65	曇	曇	—	4.0	北西	弱
	25	20.5	7.0	13.8	60	晴	晴	—	4.0	北西	弱
	26	18.0	10.0	14.3	71	曇	曇	—	3.0	北西	弱
	27	22.0	9.0	15.3	66	晴	晴	—	4.0	北西	弱
	28	23.0	13.5	18.8	56	曇	晴	—	3.5	北西	弱
	29	25.0	15.0	20.3	68	晴	晴	—	3.6	東北	弱
	30	24.0	17.0	20.7	73	曇	曇	—	3.0	東北	弱
	31	24.5	16.5	20.3	68	曇	曇	—	3.5	東北	弱
2.	1	25.5	16.5	20.0	68	晴	晴	—	3.6	北	弱
	2	25.5	15.0	19.3	82	曇	晴	—	4.5	北	弱
	3	24.0	8.0	15.0	69	曇	晴	—	4.0	北	弱
	4	22.5	10.0	17.2	64	晴	晴	—	4.0	北	弱
	5	26.0	13.5	20.2	60	晴	晴	—	4.5	北	弱
	6	25.0	13.0	20.2	65	晴	晴	—	4.5	北	弱
	7	22.0	12.5	17.2	72	曇	曇	—	4.0	北	弱
	8	21.0	11.0	15.7	71	曇	晴	—	4.5	北	弱
	9	22.5	7.0	16.2	68	晴	晴	—	4.3	北	弱
	10	25.5	12.5	19.3	61	晴	晴	—	4.5	北	弱
	11	25.8	15.0	20.9	66	晴	晴	—	5.0	北	弱
	12	29.5	14.0	23.2	58	晴	晴	—	5.2	北	弱
	13	30.0	16.0	24.3	55	晴	晴	—	5.5	北	弱
	14	25.5	17.5	21.7	78	晴	晴	—	5.5	北	弱
	15	26.0	16.0	21.3	78	晴	晴	—	4.3	北	弱
	16	28.0	16.5	21.8	73	晴	晴	—	5.0	北	弱
	17	25.5	17.0	21.3	70	曇	曇	—	4.2	北	弱
	18	25.5	16.0	21.0	57	晴	晴	—	5.0	北	弱
	19	27.0	16.0	22.5	62	晴	晴	—	5.0	北	弱
	20	30.0	16.0	24.3	56	晴	晴	—	5.5	北	弱
	21	25.5	14.0	17.8	64	晴	晴	—	6.3	北	弱
	22	23.0	13.0	17.3	71	曇	晴	—	5.0	北	弱
	23	24.5	13.0	19.5	56	晴	晴	—	5.5	北	弱
	24	26.0	11.5	19.5	64	晴	晴	—	6.0	北	弱
	25	28.0	14.5	22.8	50	晴	晴	—	5.0	北	弱
	26	27.0	17.0	22.0	73	晴	晴	—	5.4	北	弱
	27	26.0	16.0	21.7	69	晴	晴	—	5.5	北	弱
	28	29.0	17.0	24,3	59	晴	晴	—	5.0	北	弱

	29	27.0	16.0	22.7	65	晴	晴	—	4.5	北	弱
3.	1	24.5	14.0	19.8	68	晴	晴	—	5.7	北	弱
	2	24.0	12.0	19.0	60	晴	晴	—	5.5	北	弱
	3	28.0	15.5	22.3	62	晴	晴	—	6.8	北	弱
	4	29.5	17.5	25.0	59	晴	晴	—	6.6	西南	弱
	5	29.5	18.5	25.7	60	晴	晴	—	5.5	西南	弱
	6	29.5	19.5	24.7	74	晴	晴	—	5.5	北	弱
	7	30.5	18.3	25.0	67	晴	晴	—	5.7	西	弱
	8	29.0	18.5	24.7	67	晴	晴	—	5.7	北	弱
	9	28.5	18.0	24.2	76	晴	晴	—	5.5	西北	弱
	10	27.9	17.0	23.3	66	曇	曇	—	5.5	西北	弱
	11	22.0	18.5	20.7	78	曇	曇	—	4.5	西北	弱
	12	25.0	13.5	20.5	48	晴	晴	—	5.8	西北	弱
	13	27.0	13.0	20.8	61	晴	晴	—	6.4	西北	弱
	14	29.0	13.0	22.3	52	晴	晴	—	7.3	西北	弱
	15	31.0	18.5	26.5	46	晴	曇	—	5.0	南西	稍强
	16	20.0	16.5	18.5	94	曇	雨	—	5.3	西北	弱
	17	18.5	15.0	16.7	88	曇	曇	—	1.6	西北	弱
	18	16.5	15.5	15.8	93	雨	雨	—	1.5	西北	弱
	19	23.5	16.0	20.3	81	曇	雨	—	2.7	西北	弱
	20	23.4	15.4	20.0	73	晴	晴	—	2.5	西北	弱
	21	18.0	14.5	16.2	82	曇	曇	—	2.3	西北	弱
	22	22.0	13.5	17.7	82	曇	曇	—	4.5	北	弱
	23	20.5	16.5	19.2	78	曇	曇	—	2.8	西北	弱
	24	20.5	17.5	19.5	83	曇	曇	—	3.0	西北	弱
	25	25.5	17.5	22.2	79	晴	晴	—	4.6	西北	弱
	26	25.5	16.5	21.0	73	曇	晴	—	4.5	北	弱
	27	25.0	17.0	21.3	73	曇	晴	—	4.5	北	弱
	28	26.0	18.0	22.7	74	晴	晴	—	5.2	北	弱
	29	28.5	19.5	24.3	67	晴	晴	—	5.0	西北	弱
	30	28.0	19,5	24.7	79	曇	晴	—	5.0	北	弱
	31	26.5	21.0	24.5	74	曇	晴	—	4.4	北	弱

要　結

第25表　各液に依る誘致試験成績一覧表

薬剤	誘殺数		試験延日数	誘致瓶延總数
	柑橘小實蠅	雑蟲		
No.1 第 1 號液	20	29	29日	92箇

No.2 第 2 號 液	9	32	92日	92箇
No.3 クレンゼル	27	40	92日	92箇
No.4 臺農殺蟲 No.1	2,530	43	548日	548箇
No.5 臺農殺蟲 No.2	81	9	58日	71箇

No.4に關する誘致狀態を尙詳しく云へば、誘致最盛期は8月31日より10月17日、此間の誘致頭數1,387頭、1日平均28.8頭にして、10月中旬より漸次減少す、最高記錄は9月3日、1瓶で104頭の誘致數を示せり。

以上は9月20日迄20倍稀釋液使用、以後は15倍稀釋液を使用せり。猶稀釋度に依る誘致數の差を比較すれば10月中15倍にては327頭、10倍にては246頭、又11月中20倍にては78頭、15倍にては65頭(28日迄)、10倍にては36頭なりき。尙10月中18日より21日迄4日間休み22日に新しく試みしが、15倍の方にて29頭、10倍の方にて25頭の誘致數を得たり、之は表にても見らるゝ如く其時期としては比較的數の多き記錄なり。卽ち10月23日より12月31日迄の總數108頭にして1日平均1.5頭より見れば明かなり。尙其翌日卽ち10月23日は前者1頭、後者は誘致蟲無し。1月9日以後3月31日に至る4種の稀釋度に依る誘致結果は15倍が最高247頭、次で5倍が138頭、10倍が133頭、20倍は89頭なりき。此間誘致瓶は各1箇計4箇使用、液は1週間每に取換へたり。懸垂場所は10倍、15倍はグレープフルーツに5倍及20倍液はチヤイニーズキユーカンバーに設置せり。又此間の誘致雜蟲は蠅類 20 (オビキンバヘ、マダラバヘ、ハラアカイヘバヘ、クロバヘ等)、ウリミバヘ 4 (♂2, ♀2)、蜜蜂 1、コアカキリバ 4、ガガンボ 1、クモ 2 等なり。

參 考 文 獻

Abbott, C. E. 1927. Experimental data on the olfactory sense of Coleoptera, with special refference to the *Necrophori*. Ann. Ent. Soc, Amer., XX (2), 207-16.

Abbott, C. E. 1927. Further observation on the olfactory powers of the *Necrophori*, Ann. Ent. Soc. Amer., XX. 550-3.

Abbott, W. S. 1935. Further works showing that paradichlorobenzene, naphthalene and cedar oils are ineffective as repellent against cloth moths. J. Econ. Ent. XXVIII. (2) 493-5

Aino, S. (藍野祐久) 1936. 二化螟蛾の感覺器官の種類と分布、應用動物學雜誌 VIII (5) 237-44.

Barrows, 1907. The reaction of the pomace fly, *Drosophila ampelophila* Loew, to odorous substances. J. Exp. Zool. IV. 515-37.

Billings, S. C. 1934. Paradichlorobenzene, naphtalene and cedar oils insufficient as repellent against clothes moth adult, J. Econ Ent. XXVII. 401-5,

Bishopp, E. C., Roarck, R. C., Parman, D. C., and Loake, E. W. 1925. Repellents and larvicides for the screw-worm and other flies. J. Econ. Ent. XVIII. 776-78.

Bishopp, E. C., Cook, D. C., Parman, D. C., and Loake, E. W. 1923 Progress report of investigations relating to repellents, attractants and larvicides for the screw-worm and other flies. J. Econ. Ent. XVI. 222-24

Blanton, F. S., and Spricijt, F. J. 1934. Bordeaux-oil sprays as repellent to the lessner bulbflies. J. Econ. Ent. XXVII. 845-48,

Burdette, R. C. 1932. Attraction of certain insects to spray baits. J. Econ. Ent. XXV. 343-46.

Capy J. D. 1918. Some practical methods adapted for the control of flies in the Egyptian campaign. Bul. Ent. Res. VIII. 297-309.

Chorley, C. W. 1933. Traps for tsetre-flies of the "orinoline", and "ventilator" forms. Bul. Ent. Res. XXIV. 315-18.

Cleveland, C. R. 1926. Repellent sprays for flies attacking dairy cattle. J. Econ. Ent XIX. 529-36.

Cole, A. C. 1932. The olfactory responses of the cockroach (*Blatta orientalis*) to the more important essential oils and a control measure formulated from the results. J. Econ. Ent. XXV. 902-5.

Cook, W. C. 1926. The effectiveness of certain paraffin derivatives in attracting flies. J. Agr Res. XXXII. 347-58. (By McIndoo).

Crocher, E. C., and Henderson L. F. 1927. Analysis and classification of odors. Amer. Perfumer and Essential Oil. Review XXII (6) 325-27, 356. (By McIndoo)

Deonier, C. C. 1938. Effects of some common poisons in sucrose solutions on the chemoreceptors of the housefly, *Musca domestica* L. J. Econ. Ent. XXXII 742-45.

Dewitz, J. 1913. The bearing of physiology on economic entomology. Bul. Ent. Res. III. 343-54.

Eyer, J. R. 1933, Codling moth investigations. New Mex, Agr. Exp. St. Amer. Rpt. 44, 36-40. (By McIndoo)

Eyer, J. R. 1937. Ten years experiments with codling moth bait traps, light traps and trap bands. New Mex. Exp. St. Bul. 253. 1-67.

Eyer, J. R., Medler, J. T., and Linton, H. L. 1937. Analysis of attractant factors in fermenting baits used for codling moth. J. Econ. Ent. XXX. 750～56.

Forel, A. 1910. Das Sinnesleben der Insekten. 80-120., 238-99.

Folson, T. W. 1931. Achemotropometer. J. Econ. Ent. XXIV. (4) 827-33.

Fujishima, H. (藤島廣喜) 1934. 昆蟲飛翔の一考察、植物、動物 II (5) 855-94.

Graybill, H. W. 1914. Repellents for protecting animals from the attacks of flies. U. S. Dep. Agr. Bull. 131～26. (By McIndoo).

Hartwell, R. A. 1924. A study of the olfactory sense of termites. Ann. Ent. Soc. Amer. XVII (2) 131-62.

Hauser, G. 1880. Physiologische und Histiologische Untersuchungen über das Geruchsorgen der Insekten. Zeitschr. f. wirsens. Zool. XXXIV. 367-403, (By Pachard).

Hayashi, I. (林泉) 1936. 動物趨性學 4-43.

Hoskins, W. M., and Craig, R. 1934. The olfactory responses of flies in a new type of insect olfactometer. 1. Theory and design of the olfactometer. J. Econ. Ent. XXVII. (5) 1029-36.

Howlett, C. G. 1912. The effect of oil of citronella on two spacies *Dacus.* Tran. Ent Soc, 412-18.

Howlett. C. G. 1915. Chemical reactions of fruit flies. Bul. Ent. Res. VI. 297-306.

Hewitt, C. G. 1917. Insect behaviour as a factor in applied entomology. J. Econ. Ent. X. 81-94.

Houser, J. S. 1939. Protein lures for fruit flies. J. Econ. Ent. XXXII. (6) 758-61.

Imamura, S. (今村重元) 1938. ヒメマルカツヲブシムシの嗅覺反應並視覺反應に就て、蠶試報 IX (1) 1-16.

Imamura, S. (今村重元) 1938. 蠁蛆蠅の化學的感受性に關する研究、蠶試報 IX (5) 219-69.

Imamura, S. (今村重元) 1938. 蠁蛆蠅の飛翔に就て、蠶試報 IX (5) 271-82. 及動雜 XLVII. 501-2.

Imms, A. D., and Husain. 1920. Field experiments on the chemotropic responses of insects. Ann. Spp. Biol. VI. (ByImms)

Kanzawa, T. (神澤恒夫) 1939. 櫻桃猩々蠅の研究、山梨農試報 31-_8.

Katao, S. (片屋貞義) 1935. 蠁蛆蠅の飛翔力に就て、蠶界、XLIV (524)

Kobayashi H. (小林晴次郎) 1928. 蠅の季節的消長に關する調查、日學協報 III. (其他同氏の蠅に關する研究は屡々報告ありたれども玆には其等の原文を再讀し得ざる故に本文中には確かなる記憶の事項に就てのみ引用す。)

Kobayashi, K. (小林貫一) 1936. 赤星椿象の趨化性に關する研究、應動 VIII (4) 177-96.

Kühn, G. 1919. Die Orientieruna der Tiere im Paum. (By Hayashi or Trägårh)

Kumashiro, S. (熊代三郎) 1936. 蠅類の季節的消長と誘引に關する實驗觀察、大農研 28. 346-60.

Lehman, R. S. 1932. Experiments to determine the attractiveness of various aromatic compounds to adults of the wireworms. J. Econ. Ent. XXV. 949-58.

Lipp, J. W. 1928. Preliminary tests with possible repellent of the oriental peach moth J. Econ. Ent. XXII. 116-26.

Loke, E. W., Parman, D. C., Bishopp. E. C., and Roabk, R. C. 1926. Field tests with repellents for the screw-worm fly, *Cochliomyia macellaria* Fab, upon domestic animals. J. Econ. Ent. XIX. 536-39.

Loed. 1918. Forced movements, tropism, and animal condacts. Philadelphia and London. (By Imms)

Lodge, O. C. 1918. An examination of the sense-reactions of flies. Bul. Ent Res. IX. 141-52.

Marshall, J. 1935. The location of olfactory receptors in insects: A review of experimental evidence., Trans. Roy. Ent. Soc. Lond. LXXXVIII (I) 49-12. (By McIndoo)

McIndoo, N. E. 1914. The olfactory sense of the honey bee. J. Exp. Zool. XVI (By Imms)

McIndoo, N. E. 1919, The olfoactory sense of lepidopterous larvae. Ann. Ent. Scc, Amer. XII 65-84.

McIncoo- N. E. 1926, Sense of the coton ball weevil an attempt to explain how plant atract insects by smell. J. Agr. Res, XXXIII. 1905-41.

McIndoo, N. E. 1926. An insect olfacometer. J. Econ. Ent. XIX 545-71.

McIndoo, N. E. 1927. Smell and taste and their application. Sci. Monthly Dec. 481-503.

McIndoo, N. E. 1928, Responses of insects to smell taste and their value in control. J. Econ. Ent. XXI (6) 903-13.

McIndoo, N. E. 1933, Olfactory responses of blowflies, with and without antennae, in a wooden olfactometer. J. Agr. Res. XLVI (7) 607-25.

McInboo, N. E. 1935. The relative attractiveness of certain solanaceous plants for colorado potato beetle, (*Leptinotarsa desemlineata* Say) Prov. Ent. Soc. Wash., XXXVII, (2.) 36-42.

McIndoo, N. E. 1838. The senses of insects compared to those of higher animals. Proc. Ent Soc. Wash. XL (2) 25-35.

MacGovran, F. R., and Fllison L. O. 1936. Repellency of pine-taroil to wound infesting blowflies. J. Econ. Ent. XXIX. (5) 980-83.

Minnich, D. E. 1929. The chemical sensitivity of the legs of the blowfly, *Calliphora vomitoria* Linné., to various sugars. Zeitschr. Für. Verg. Peysi., II. (1) 1-55.

Minnich, D. E. 1931. The sensitivity of the oral lobes of the proboscis of the blokfly, *Calliphora vomitoria* Linné., to various sugars, J. Exp. Zool. XL (1) 121-39.

Miwa, Y. (三輪勇四郎) 1939. 實蠅誘致劑に關する試驗(豫報) 昆蟲 XIII (5-6) 255-61.

Morgan, A. C., and Crud, S. E. 1928. Notes on the chemotropic responses of certain insects. J. Econ. Ent. XXI. 913-20.

Nakamura, S. (中村純雄) 1939. 蜜柑小實蠅の藥劑誘殺試驗成績、臺農報 I (10) 56-65.

Ômori, N. (大森南三郎) 1933. イチモンヂセセリ *Parnara guttata* Bremer et Grey の上昇飛翔に就て、昆蟲 VII (2) 55-64.

Ono, M. (小野正雄) 1930. 家蠶蛹其他鱗翅目蛹體に於ける孔窩に就て、鳥農學報 II. 163-79.

Peterson, A. 1924. Some chemicals attractions adults of the onion maggot (*Hylemtia antiqua* Meig) and the seed come maggot (*H. cilicrura* Ond) J. Econ. Ent. XVII. 87-94.

Peterson, A. 1925. A bait which attracts the oriental peach moth (*Lespeyresia molesta* Busck). J. Econ. Ent. XVIII. 181-190.

Peterson, A. 1926. An evaporation cup useful for chemotropic studies of insects in field. J. Econ. Ent. XIX (6) 863-66.

Peterson, A. 1927. Some baits more attractive to the oriental peach moth than molasess. J. Econ. Ent. XX. 174-85.

Richardson, C. H. 1916. The attraction of Diptera to ammonia. Ann. Ent, Soc. Amer., IX. 408-413.

Richardson. C. H 1922. Is the housefly in its natural environment attracted to carbondioxide ? J. Econ. Ent. XV. 425-30.

Richmond, E. A. 1927. Olfactory response of the Japanese Beetle (*Popillia japonica*, Newm.) Proc. Ent. Soc. Wash., XXIX. 36-44.

Ripley, L. B., and Hepburn, G. A. 1929 Studies on reactions of the natural fruit-fly to fermenting baits. Ent. Mem. Dep. Agr. S. Afr. 6, 19-53.

Ripley. L. B., and Hepburn, G. A. 1929. A new olfactometer successfully used with fruit-fly. Ent. Nem. Dep. Agr. S. Afr. 6. 55 p.

Ripley, L. B., and Hepburn, G. A 1929. Fruit-fly control. Fing. S. Afr. Repri. 61, 5p. (Abst. R. A. E. XVIII. 197-8).

Ripley. L. B., and Hepburn G. A. 1931. Further studies on the olfactory reactions of the natural fruit-fly, (*Pterandrus rosa* Ksh.) Ent. Mem. Dept. Agr. S. Afr. 7, 24-81. (Abst. R. A. E. XIX. 707).

Ripley. L. B., and Hepburn, G. A. 1935. Olfactory attractions for male fruit-fly. Ent. Mem. Dep. Agr. S. Afr. 9. 3-17. (Abst. R. A. E. XXIII. 689)

Rudolfs, W. 1922. Chemotropism of mosquitoes. N. J. Agr. Exp. St. Bui. 367, 23, p. (By McIndoo)

Spyer, E. R. 1920. Notes on the chemotropism in the housefly. Ann. App. Biol., VII. 134-40. (By McIndoo).

Seamans, H. L. 1920. The external anatomy of *Anthomyia radicum* Linné. Ann. Ent. Soc. Amer. XIII. 201-23.

Smith, R. I. 1911. Formalin for poisonig houseflies proves very attractive when used with sweet milk. J. Econ. Ent. IV.

Trägårdh, I. 1913. On the chemotropism of insects its significance for eonomic entomology. Bul. Ent. Res. IV. 113-17.

Verschaffelt, Ed, 1910. The cause determining the selection of food in some berbivorus insects. K. Akad. Wetensch. Amsterdam. Proc. Sect. Sci., XIII. (1). 536-42. (By McIndoo).

Wardle, R. A., and Buckle, P. 1923. The principle of insect control. 134-43., 205-220.

Weiting, J. O. G., and Hoskins, W. M. 1939. The olfactory responses of flies in a new type of insect olfactometer. II. Responses of the housefly to ammonia carbon dioxide and ethyle alchol. J. Econ. Eht. XXXII. (1) 24-29.

Yagi, N. (八木誠政) 1933. 二化螟蟲蛾の翅の運動と温度との關係に就て、昆蟲 VII (5-6) 199-294.

昭和十五年七月廿九日印刷
昭和十五年八月一日發行

臺灣總督府農業試驗所

臺北市榮町一丁目二十八番地
印刷人　中村誠德
臺北市榮町一丁目二十七番地
印刷所　松浦屋印刷部